

津市立安濃小学校

普通教室等空調設備設置工事

設 計 図

| 図面リスト | | | | | | |
|----------|-----------|----------------------------|--------|---------|----------|--|
| 津市立安濃小学校 | | | | | | |
| 機械設備工事 | | | 電気設備工事 | | | |
| 図面番号 | 図面名称 | | 図面番号 | 図面名称 | | |
| MTK-01 | 機械設備 | 特記仕様書(1) | ETK-01 | 電気設備 | 特記仕様書(1) | |
| MTK-02 | 機械設備 | 特記仕様書(2) | ETK-02 | 電気設備 | 特記仕様書(2) | |
| M-01 | 配置図・付近見取図 | | ETK-03 | 電気設備 | 特記仕様書(3) | |
| M-02 | 空調設備 | 機器表 | E-01 | 受変電設備 | 高圧単線結線図 | |
| M-03 | 空調設備 | 施工要領図(参考) | E-02 | 既設受変電設備 | 高圧単線結線図 | |
| M-04 | 空調設備 | 教室、特別教室管理棟 1~3階平面図 | E-03 | 受変電設備 | 平面詳細図 | |
| M-05 | 空調設備 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1階・2階平面図 | E-04 | 電気設備 | 1階平面図 | |
| M-06 | 空調設備 | 教室、特別教室、多目的教室棟 1~3階平面図 | E-05 | 電気設備 | 2階平面図 | |
| M-07 | 空調制御設備 | 教室、特別教室管理棟 1~3階平面図 | E-06 | 電気設備 | 3階平面図 | |
| M-08 | 空調制御設備 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1階・2階平面図 | | | | |
| M-09 | 空調制御設備 | 教室、特別教室、多目的教室棟 1~3階平面図 | | | | |
| M-10 | 基礎図 | | | | | |
| M-11 | フェンス標準図 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 機械設備工事特記仕様書 | |
| 1 工事名称 | 津市立安濃小学校普通教室等空調設備設置工事 |
| 2 工事場所 | 津市 安濃町多 地内 |
| 3 建築概要 | |
| 4 適用基準 | 消施設の適用 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官庁官庁建築部監修 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成28年版」 「公共建築改修工事標準図(電気、機械設備工事編)平成28年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものを適用する。 |
| 5 一般事項 | 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書と併りに施工することで将来不具合が生じると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と併りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による仮想的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 □建築工事に準じる 1) 工事書類 : ・施工計画書 ・打合記録 ・施工要領書 ・機器使用図 機器明細図 工程表 ・施工図等 2) 工事完成図書 : ・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真 ・安全・訓練実施記録 ・竣工図(製本4(原寸 2部、A3(見開き) 2部)) ・機器完成図(ファイル等1部) ・保守に関する説明書(取扱説明書・保証書) 2部 ・機器性能試験成績書 1部 ・性能測定表(試験結果・測定結果等) 1部 ・官公署届出書類(検査済証 1部 ・出来形確認書類 1部 等 ※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。 ※ 工事写真は登録写真写真撮影要領(平成28年版)に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。 |
| (2) 機器及び材料等 | 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書(メーカーリスト)、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあつては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。 |
| (3) 官公署等への届出手続 | 工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ■本工事(□建築工事 ■電気設備工事 □機械設備工事) □別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。 |
| (4) 品質管理 | 工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。 |
| (5) 出来形管理 | 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度(設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ) ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ |
| (6) 製品確認 | 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない |
| (7) 耐震安全性の分類 | 構造体()類 建築非構造部材()類 建築設備()類 |
| (8) 機器の地震力(主要機器) □図示による | 空調機器 設置階(地上) 設計標準震度Ks(1.0) 地域係数(1.0) 水栓類 設置階() 設計標準震度Ks() 地域係数(1.0) |
| その他監督員が指示するもの | |
| (9) 冷媒(フロン類)の回収 ■適用する □適用しない | 冷媒機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・フロン回収工程管理票 ・特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券) 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業(ポンプダウン)を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。 (10) 中間技術検査 実施回数()回 |

| | |
|---|--|
| (11) 発生材の処理等 □建築工事に準じる | |
| 1) 引渡しを要するもの() | 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 |
| 2) 特別管理産業廃棄物() | 処理方法() |
| 3) 現場内において再利用を図るもの □発生土 □その他() | |
| 4) 再資源化を図るもの(□コンクリート塊 □アスファルトコンクリート塊 □建設発生木材) | |
| 5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 | |
| 6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(マカシム、B2、D票を提示すること。) | |
| (12) 電気保安技術者 □適用する ■適用しない | |
| (13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日() □一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □指定なし() | |
| 2) 施工可能時間帯 □指定なし ■指定あり(※学校運営に支障のない範囲) | |
| (14) 概成工期 建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえて、関連工事を含めた各工事が支障のない状態で完了していること。 □指定なし □指定あり(平成 年 月 日) | |
| (15) 仮設工事 構内既存の施設 □建築工事に準じる | |
| 1) 便所 ■利用できる □利用できない | |
| 2) 工事用水 □利用できる(有償) ■利用できる(無償) □利用できない | |
| 3) 工事用電力 □利用できる(有償) ■利用できる(無償) □利用できない | |
| ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。 | |
| (16) 足場 □建築工事に準じる | |
| 1) 内部足場 ■樹立 □足場板 | |
| 2) 外部足場 ■A種 □B種 □C種 □D種 □E種 □F種 | |
| 3) 防護シート等による養生 □適用する □適用しない | |
| ※設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うこと。 | |
| (17) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあつては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、協議を行うこと。 (認定製品の品名:) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。 (認定製品の品名: ・間伐材製工事用バリエード・間伐材工事看板・間伐材表示板()) | |
| (18) 建設副産物 | 1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」(建設資材を搬入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を搬出した場合)を施工計画書に纏込んで監督員に提出すること。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」(建設資材を搬入した場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物を搬出した場合)を作成し、監督員に提出すること。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。 2) 請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。 |
| (19) 三重県産業廃棄物税 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェスト)の数量の集計)を超えて請求することはできない。 | |
| (20) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。 | |
| (21) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にない復旧すること。 | |
| (22) 不正軽油の使用の禁止 1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。 また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。 | |

| (23) その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|------|------|----|-----|------|------|------|----|----|---|-----|--|----|----|---|-----|
| 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 工事項目 | 給排水衛生設備工事 □ 屋外給水設備工事 □ 屋内給水設備工事 □ 屋外排水設備工事 □ 屋内排水通気設備工事 □ 衛生器具設備工事 □ 消火設備工事 □ 給湯設備工事 □ 屋外ガス設備工事 □ 屋内ガス設備工事 □ 浄化槽設備工事 □ 厨房機器設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空調設備工事 | 空調設備工事 ■ 機器設備工事 ■ 配管設備工事 □ 換気設備工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 工事概要 | 空調設備工事 (1) 機器設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプパッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。 空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>外気条件</th> <th>夏季</th> <th>乾球温度℃</th> <th>湿球温度℃</th> <th>相対湿度%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>34.5</td> <td>27.3</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1.7</td> <td>-1.3</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>室内条件</td> <td>夏季</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>成行き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>冬季</td> <td>22</td> <td>-</td> <td>成行き</td> </tr> </tbody> </table> (2) 配管設備工事 各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。 | 外気条件 | 夏季 | 乾球温度℃ | 湿球温度℃ | 相対湿度% | 夏季 | 34.5 | 27.3 | 57.6 | 冬季 | 1.7 | -1.3 | 49.6 | 室内条件 | 夏季 | 26 | - | 成行き | | 冬季 | 22 | - | 成行き |
| 外気条件 | 夏季 | 乾球温度℃ | 湿球温度℃ | 相対湿度% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏季 | 34.5 | 27.3 | 57.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬季 | 1.7 | -1.3 | 49.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 室内条件 | 夏季 | 26 | - | 成行き | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 冬季 | 22 | - | 成行き | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 総合調整 | (1) 風量調整 □ 適用する □ 適用しない (2) 水量調整 □ 適用する □ 適用しない (3) 室外外空気の温度測定 ■ 適用する □ 適用しない (4) 室外外空気の湿度測定 □ 適用する □ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する □ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する □ 適用しない (7) 飲料水の水质の測定(水道法施行規則10条による水质検査) □ 適用する □ 適用しない のうち一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物(全有機炭素(TOC)の量)、pH値、味、臭気、色度、濁度 について測定を行うこと。 ※遊離残留塩素 については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行うこと。 (8) その他() □ 適用する □ 適用しない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----------|---|
| 9 工事細目 | (1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面に明記すること。 |
| □ 給水管 | □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 (一般:SGP-VB 地中:SGP-VD) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般:SGP-FVA、FVB 地中:SGP-FVD) ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。 □ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 (一般・地中:HIPV) □ 水道配水用ポリエチレン管 JWMA K 144 (地中:PE) □ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 |
| □ 雑排水管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 土間:一般:硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) 土間:リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 |
| □ 通気管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 |
| □ 汚水管 | □ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 □ 同MD継ぎ手 JPF MDJ 002 □ 土間:一般:硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) 土間:リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 |
| □ 鉛管 | □ 排水・通気用鉛管 SHASE-S203 |
| □ 給湯管 | □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般:SGP-HVA 地中:WHTLP 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管) □ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWMA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 |
| □ ガス管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 土間:塩化ビニル被覆鋼管(黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中:PE) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 □ ガス事業者の供給規定に準じる |
| □ 消火管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL.FL面より+100立ち上げた所までとする。 |
| □ 屋外埋設排水 | □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品)(1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管) |
| □ 冷温水配管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般:SGP-HVA) |
| □ 冷却水管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116 (一般:SGP-VA、VB) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般:SGP-FVA、FVB) |
| ■ ドレン管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP) ※屋外露出部はカラーVPとする ■ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。 |
| ■ 冷媒管 | □ 鋼及び銅合金組む管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい)とする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。 |
| □ 油管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合 |
| □ 蒸気管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 |
| □ ブライン管 | □ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 |
| ※ 弁類 | 揚水ポンプ(二次側)、消火ポンプ(二次側)、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は5Kとする。 塩化ビニルライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。 |

| | |
|---------------------------|------------|
| 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 細尺 — |
| 図面名称 機械設備 特記仕様書(1) | 原因:A 2 |
| 津市建設部管轄課 | No. MTK-01 |

※ 横走り管の吊り間隔

| | | | |
|---------------------|------------------|--------|---------------|
| 鋼管 | 100A以下 125A以上 | — — | 2m 以下 3m以下 |
| ビニル管 耐火二層管 鋼管 | 80A以下 100A以上 | — — | 1m 以下 2m以下 |
| 鉛管 | | | 1.5m以下 |
| 鍍鉄管 | 標準図による | | |

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

| | | | |
|---------------------|---------|----------|-------|
| 支持間隔 | 6m以下 | 8m以下 | 12m以下 |
| 鋼管 | - | 50A~100A | 125A~ |
| 鍍鉄管 | | | |
| ビニル管 耐火二層管 鋼管 | 25A~40A | 50A~100A | 125A~ |

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SG6C、SG6CA) 鍍金付着Z18以上
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
 - アングルフランジ工法
 - 共板フランジ工法
 - スライドオンフランジ工法
- 工法
- 山形鋼 JIS G 3101
 - SUS鋼材 JIS G 4317
- 形鋼補強
- 山形鋼 JIS G 3101
 - スパイラルダクト
- 丸ダクト
- 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
(屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> |
- (屋外等)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 | <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット
(防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> 消火管 |

- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号
(屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃) |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- (屋外等)
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 給湯管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- 鋼合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂鋼合ベイント) 1種
(露出)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 通気管 | <input type="checkbox"/> ドレン管 |
| <input type="checkbox"/> ガス管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> 油管 | <input type="checkbox"/> 冷却水管 |

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
|--------------|------|----------|--------|---------|-------|
| 給水・排水・ドレン・給湯 | ~80A | 100~150A | - | 200A~ | - |
| 膨張・漏水・消火管 | - | - | - | - | - |
| 蒸気管 | ~25A | - | 32~50A | 65A~ | - |
| 冷水・冷温水・冷媒管 | - | - | ~25A | 32~200A | 250A~ |

・ ポリスチレンフォーム

| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 |
|----------------|------|-------|------|----------|--------|-------|
| 給水・消火・排水管 | ~80A | 100A~ | - | - | - | - |
| 冷水・冷温水管 | - | - | ~25A | 32~200A | 250A~ | - |
| 冷水管 (冷水温度2~4℃) | - | - | ~20A | 25A~100A | 125A~ | - |
| プライン管 | - | - | - | ~25A | 32~80A | 100A~ |

・ 機器ダクト保温厚

| 保温厚 | |
|------|---|
| 25mm | ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール) |
| 50mm | ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール) |
| 75mm | 煙導(ロックウール) |

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------|--------------|----------------|------------|-------------|
| 屋内露出 | 保温筒 | 鉄線 | 合成樹脂製カバー | |
| 機械室・書庫・倉庫 | 保温筒 | 鉄線 | 原紙 | アルミガラスクロス仕上 |
| 天井内・P S内 | 7A29 5A化粧保温筒 | アルミガラスクロス粘着テープ | | |
| 暗渠内 (ピット内) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 着色7A29 5A |
| 屋外露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板仕上 |

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------------|-----|----|------------|---------------|-------------|
| 屋内露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 合成樹脂製カバー | |
| 機械室・書庫・倉庫 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 原紙 | アルミガラスクロス仕上 |
| 天井内・P S内 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | アルミガラスクロス仕上 | |
| (温水・蒸気管以外) | | | | | |
| 暗渠内 (ピット内) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 着色アルミガラスクロス仕上 | |
| 屋外露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板仕上 | |

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 (給食室内を除く屋内一般)
■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出・給食室内)

機器保温仕様

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------------|---|-----|----------------|---------|-----------------------|
| 冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク | 鉄 | 保温帯 | ポリエチレン フィルム | 鉄線 | SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内) |
| 冷水・冷温水ヘッダー | | | | | |
| 温水・膨張・通水 貯湯タンク | 鉄 | 保温帯 | 鉄線 | SUS鋼板仕上 | |
| 温水・蒸気ヘッダー 熱交換器 | | | | | カラー鉄板 (屋内) |

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙導 保温仕様

| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|-----------|-------|-----|----------------|----------------|---------------------------|
| 長方形ダクト | 屋内露出 | 一般・廊下 | 鉄 | 保温板 | カラー鉄板 | |
| | 機械室 | | | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| 円形ダクト | 屋内露出、D S内 | | | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| | 屋外露出、多湿箇所 | | | 鉄 | 保温板 | ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板 |
| スパイラルダクト | 屋内露出 | 一般・廊下 | 保温帯 | 鉄線 | カラー鉄板 | |
| | 屋内隠蔽、多湿箇所 | | | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| サブライチャンパー | 屋内露出、多湿箇所 | | | 保温帯 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板 |
| | 屋外露出、多湿箇所 | | | 鉄 | 保温板 | ガラスクロス 鋼電甲金網 |
| 消音チャンパー・エルボ | | | | 鉄 | 保温板 | ガラスクロス |
| 排煙ダクト長方形 | 屋内隠蔽 | | | 鉄 | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ |
| 排煙ダクト円形 | 屋内隠蔽 | | | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| 煙導 | | | | ブランケット 鉄線 | カラー鉄板 | |

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙導ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目径6mm 16線径0.55
による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼電甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

| 機材 | 状態 | 塗料の種類 | 塗り回数 | | | 備考 |
|----|----|--------|------|-----|-----|--------------|
| | | | 下塗り | 中塗り | 上塗り | |
| 白管 | 露出 | 鋼合ベイント | 1 | 1 | 1 | 下塗りはさび止めベイント |
| 黒管 | 露出 | 鋼合ベイント | 2 | 1 | 1 | 下塗りはさび止めベイント |

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA
□ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA
□ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. RA
□ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA
□ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
- チャンパー内貼施工
□ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

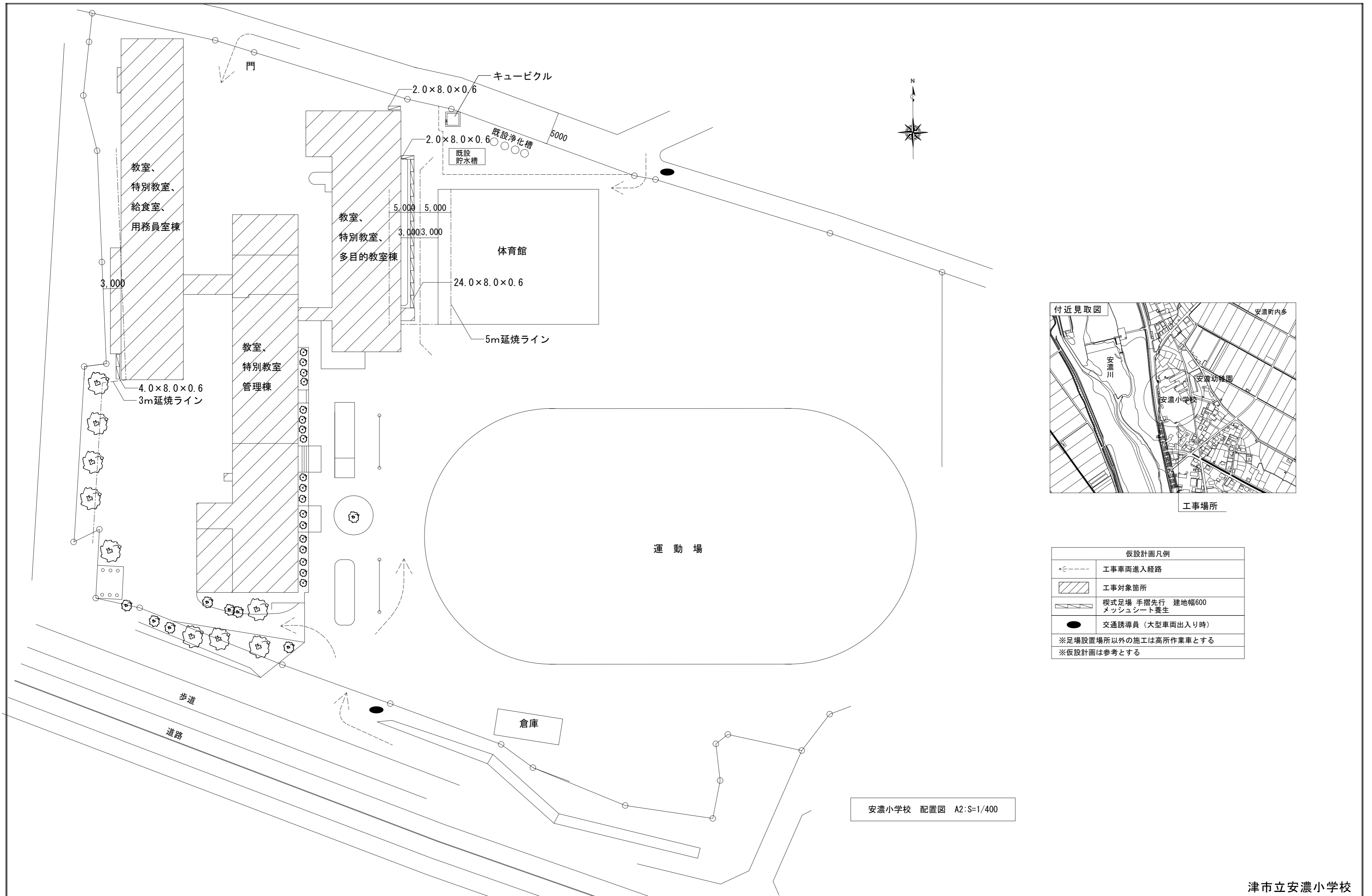
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けのガラリチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・ 管は継ぎ手の組み合わせによりより性をたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間防に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊巻の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

※ 特記事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ※ 現場作業着手までの敷地面調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。
- ※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほりこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 安全対策として、作業範囲にはコーン等を設置すること。
- ※ 側溝、樹等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
- ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
- ※ 工事着手前には、現状状況把握のために破損箇所等があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
- ※ 本工事の現場施工にあたっては学校運営に支障のないように、土日祝日等休日に施工を行うようにすること。ただし、平日であっても授業等に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
- ※ 給食室内での作業は原則として令和元年12月21日~令和2年1月5日とする。ただし、軽微な作業等で給食室管理者の許可が得られる場合はこの限りではない。設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。



※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号 143379

| | |
|---------------------------|------------|
| 工事名 | 原図 |
| 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| 図面名 | 縮尺 |
| 配置図・付近見取図 | A2:S=1/400 |
| | 図面番号 |
| | M-01 |

TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公

日付 担当 承認

津市立安濃小学校

空調機器リスト 安濃小学校

| 記号 | 名称 (参考型番) | 形式・仕様 | 電気容量 | | | APF | 台数 | 設置場所 備考 | 室外機基礎 | | |
|-----------|--------------|---|------|-----|---------|---------|----------|------------|-------|---|-----------------------------------|
| | | | φ | V | 消費電力kW | | | | | 圧縮機kW | 送風機kW |
| PAC 1 | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 (3馬力) | 3 | 200 | 冷房 2.10 | 1.70 | 内 0.091 | 5.0 | 5 | 教室、特別教室管理棟 2F特別支援教室x5 | 既成コンクリート架台 L=1000 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 7.1 (3.2~8.0) kW | | | 暖房 2.25 | 外 0.070 | | | | | |
| | | 暖房能力 8.0 (3.6~9.5) kW | | | 低温 2.49 | | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、 防護ネット、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 1A | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 (3馬力) | 3 | 200 | 冷房 2.10 | 1.70 | 内 0.091 | 5.0 | 1 | 教室、特別教室管理棟 2F特別支援教室 | 壁付ブラケット架台 (溶融亜鉛メッキ) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 7.1 (3.2~8.0) kW | | | 暖房 2.25 | 外 0.070 | | | | | |
| | | 暖房能力 8.0 (3.6~9.5) kW | | | 低温 2.49 | | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、 防護ネット、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 2 | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 (6馬力) | 3 | 200 | 冷房 5.38 | 2.99 | 内 0.15 | 4.7 | 4 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 2F普通教室x2 | 既成コンクリート架台 L=500 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 14.0 (6.3~16.0) kW | | | 暖房 4.65 | 外 0.211 | | | | | |
| | | 暖房能力 16.0 (7.2~20.0) kW | | | 低温 7.10 | | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、 防護ネット、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 2A | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 (6馬力) | 3 | 200 | 冷房 5.38 | 2.99 | 内 0.15 | 4.7 | 3 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 2F普通教室 教室、特別教室、多目的教室棟 2F普通教室x2 | 既成コンクリート架台 L=500 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 14.0 (6.3~16.0) kW | | | 暖房 4.65 | 外 0.211 | | | | | |
| | | 暖房能力 16.0 (7.2~20.0) kW | | | 低温 7.10 | | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、 風向調整板、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 3 | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 同時ツイン (10馬力) | 3 | 200 | 冷房 10.4 | 5.70 | 内 0.15x2 | 4.3 | 1 | 教室、特別教室、多目的教室棟 1F図工室 | 既成コンクリート架台 L=500 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 25.0 (11.3~28.0) kW | | | 暖房 8.65 | 外 0.292 | | | | | |
| | | 暖房能力 28.0 (12.6~35.0) kW | | | 低温 11.5 | +0.292 | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、分岐管、 防護ネット、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 3A | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 同時ツイン (10馬力) | 3 | 200 | 冷房 10.4 | 5.70 | 内 0.15x2 | 4.3 | 2 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1F理科室 教室、特別教室、多目的教室棟 2F家庭科室 | 現場打ち基礎 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 25.0 (11.3~28.0) kW | | | 暖房 8.65 | 外 0.292 | | | | | |
| | | 暖房能力 28.0 (12.6~35.0) kW | | | 低温 11.5 | +0.292 | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、分岐管、 防護ネット、 他付属品一式 | | | | | | | | | |
| PAC 3B | 空冷ヒートポンプ | 形式 天井吊形 同時ツイン (10馬力) | 3 | 200 | 冷房 10.4 | 5.70 | 内 0.15x2 | 4.3 | 1 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 2F理科室 | 現場打ち基礎 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 25.0 (11.3~28.0) kW | | | 暖房 8.65 | 外 0.292 | | | | | |
| | | 暖房能力 28.0 (12.6~35.0) kW | | | 低温 11.5 | +0.292 | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤレスリモコン、分岐管、 他付属品一式 | | | | | | | | | |

注 記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。
 空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。
 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。
 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。
 機器は同等品以上とする。
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。
 (現場打ち基礎設置機器)
 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。
 室外機は防振ゴムシート(t=10以上)を敷くこと。

空調機器リスト 安濃小学校

| 記号 | 名称 (参考型番) | 形式・仕様 | 電気容量 | | | APF | 台数 | 設置場所 備考 | 室外機基礎 | | |
|----------|--------------|---|------|-----|--|---------|----------|------------|-------|----------------------------|----------------------------------|
| | | | φ | V | 消費電力kW | | | | | 圧縮機kW | 送風機kW |
| ACP 1 | 空冷ヒートポンプ | 形式 厨房用 天井吊形 同時ツイン (10馬力) | 3 | 200 | 冷房 12.1 | 5.70 | 内 0.13x2 | 3.6 | 1 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1F給食室 | 現場打ち基礎 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 25.0 (11.3~28.0) kW | | | 暖房 9.10 | 外 0.292 | | | | | |
| | | 暖房能力 28.0 (12.6~35.0) kW | | | 低温 12.5 | +0.292 | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤードリモコン、分岐管、 防護ネット、 他付属品一式 | | | ※機器能力は各メーカー基準より室内機能力(厨房用)を100%満たす適切な能力を選定すること。 | | | | | | |
| ACP 2 | 空冷ヒートポンプ | 形式 厨房用 天井吊形 (5馬力) | 3 | 200 | 冷房 5.38 | 2.41 | 内 0.13 | 3.8 | 1 | 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1F給食室 | 既成コンクリート架台 L=500 (ゴムシート敷き) |
| | パッケージエアコン | 冷房能力 12.5 (5.7~14.0) kW | | | 暖房 4.65 | 外 0.211 | | | | | |
| | | 暖房能力 14.0 (6.3~18.0) kW | | | 低温 7.62 | | | | | | |
| | | 附属品 ワイヤードリモコン、 防護ネット、 転倒防止支持金具、他付属品一式 | | | ※機器能力は各メーカー基準より室内機能力(厨房用)を100%満たす適切な能力を選定すること。 | | | | | | |
| SC 1 | 集中管理リモコン | 形式 タッチパネル式集中管理コントローラー | 1 | 100 | | | | | 1 | 職員室 | |
| | | アイコン表示、カラータッチ画面 | | | | | | | | | |

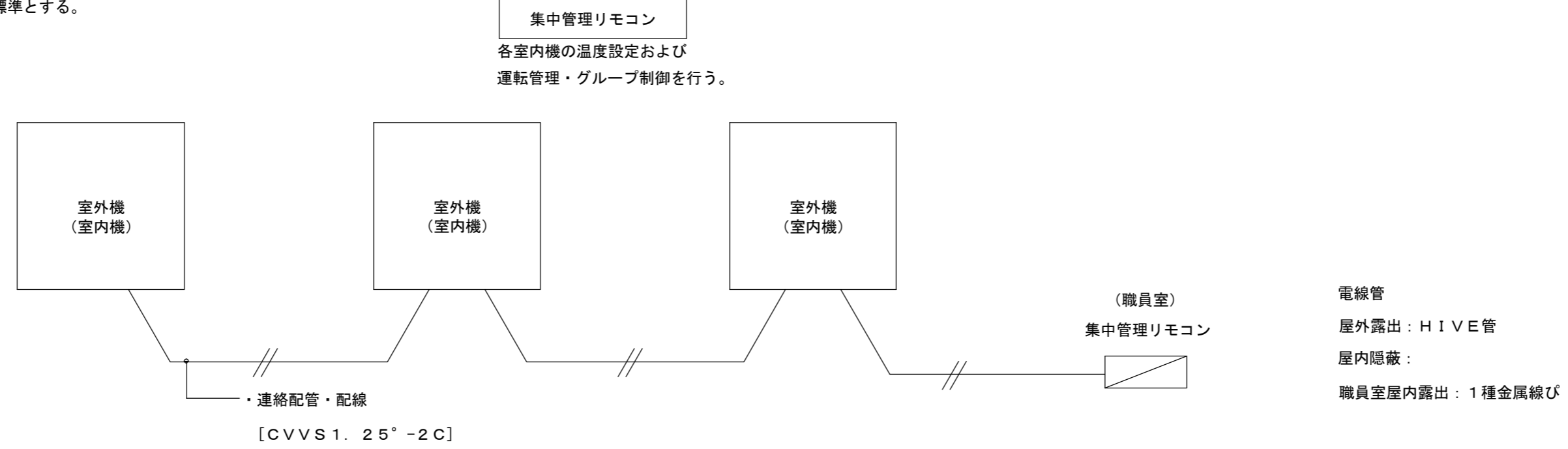
注 記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。
 空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。
 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。
 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。
 機器は同等品以上とする。
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。
 (現場打ち基礎設置機器)
 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。
 室外機は防振ゴムシート(t=10以上)を敷くこと。

津市立安濃小学校

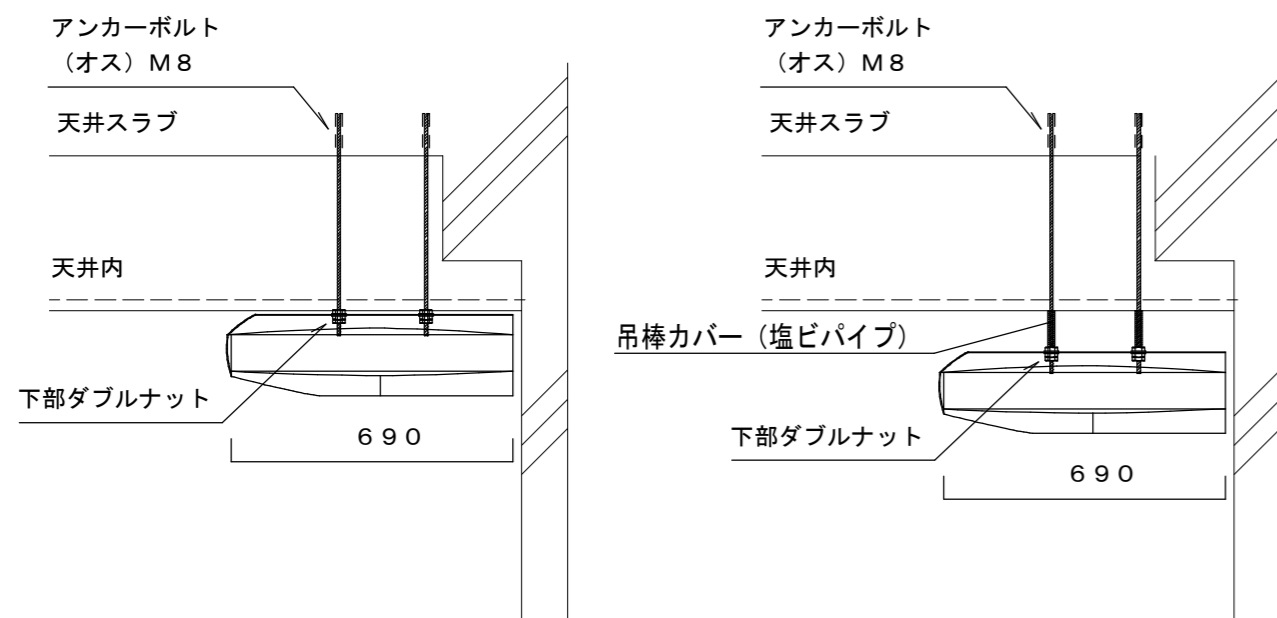
| | | | |
|-----|---|---------------------------|--------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 | 工事名 | 原 図 |
| | TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊 藤 公 | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| | 日付 | 承認 | 図面名 |
| | | | 縮尺 |
| | | | 図面番号 |
| | | 空調設備 機器表 | A2:S--- M-02 |

室外機連絡線・遠隔監視アダプター配線参考図

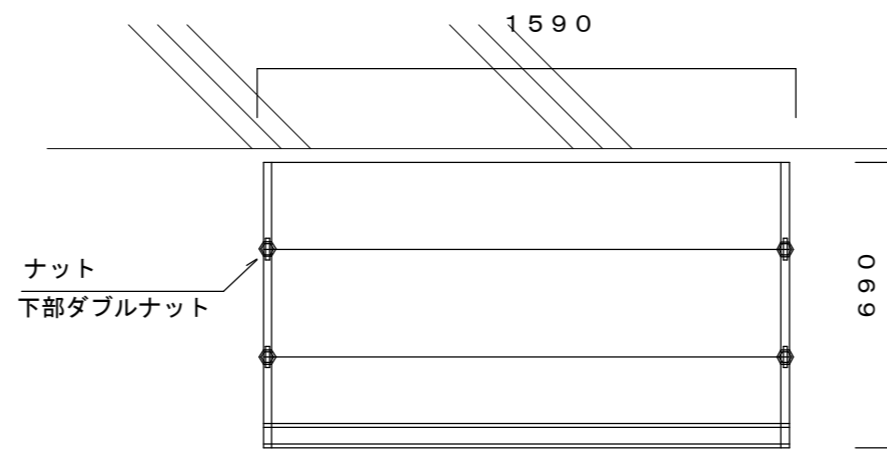
- ※1. 室内機、室外機に必要な連絡・制御配線はメーカー標準とする。
- ※2. 室外機廻りの露出中継ボックスはSUS製とする。



室内機取付詳細図



立面図



平面図

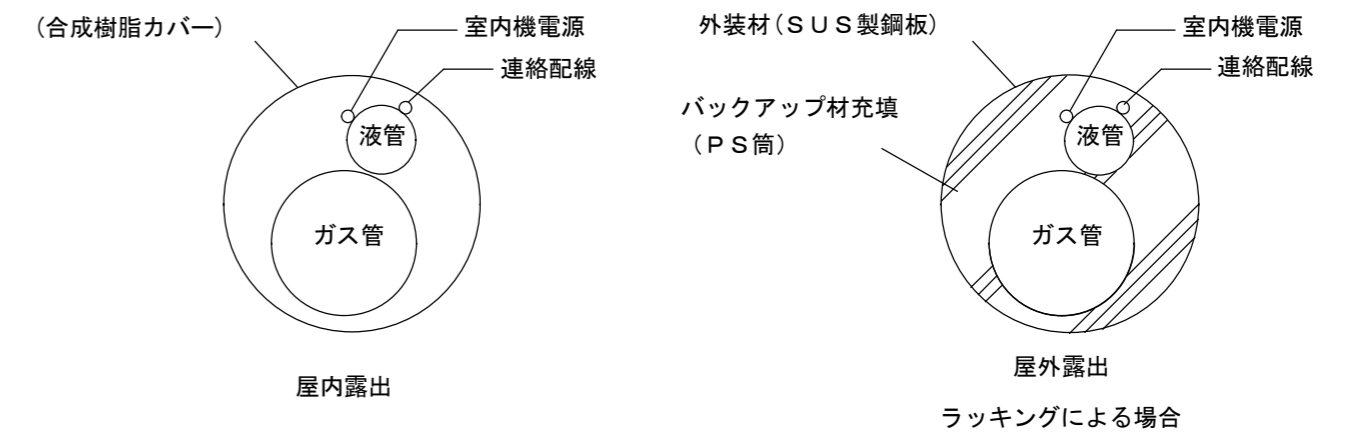
天井吊形 (天井面に直付けの場合)

天井吊形 (天井面を開けて設置する場合)

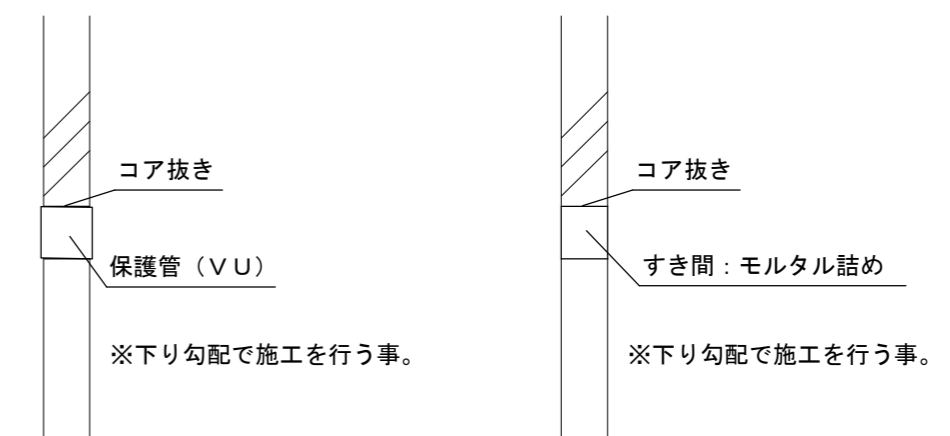
※天井ボードと室内機・壁と室内機の間は可能な限り隙間が空かないよう設置すること

天井吊型

冷媒管保温要領



コア抜き参考図



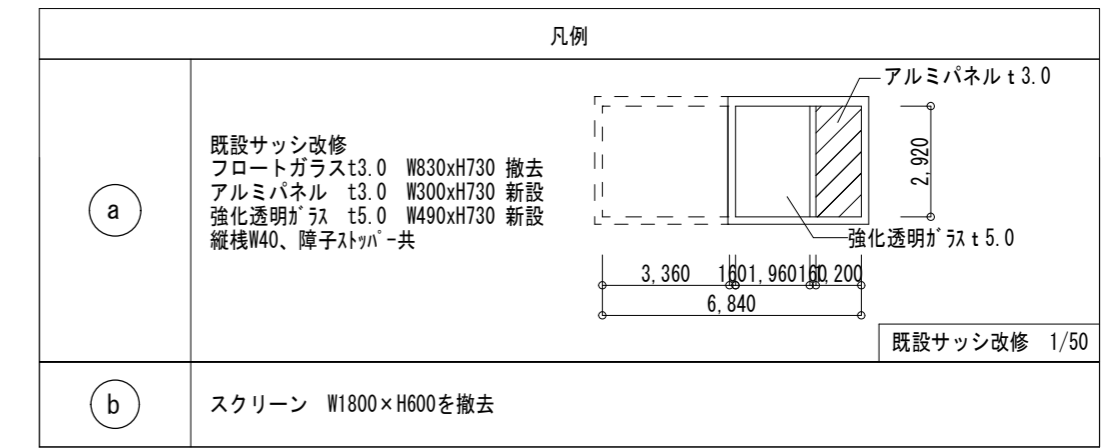
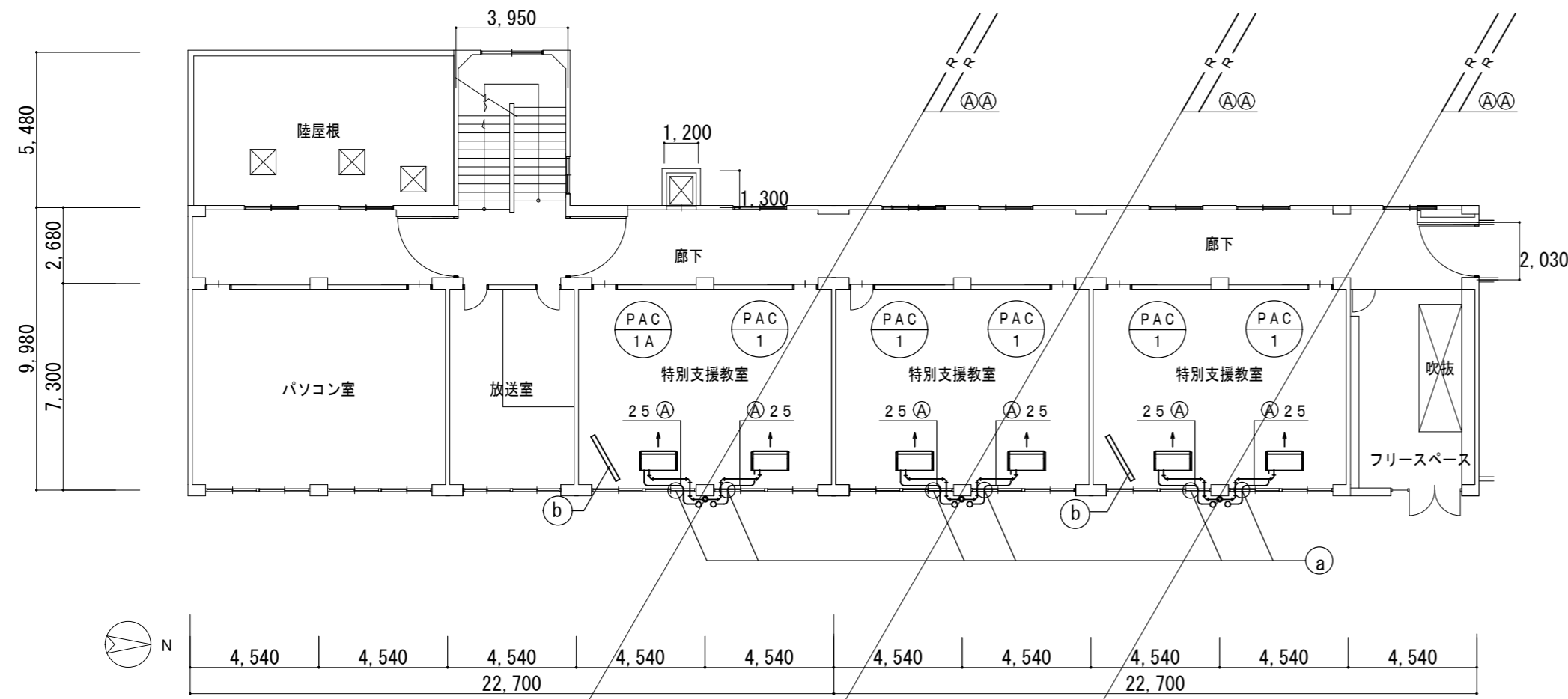
津市立安濃小学校

※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公

| | |
|---------------------------|----------|
| 工事名 | 原図 |
| 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| 図面名 | 縮尺 |
| 空調設備 施工要領図 (参考) | A2:S=--- |
| | 図面番号 |
| | M-03 |

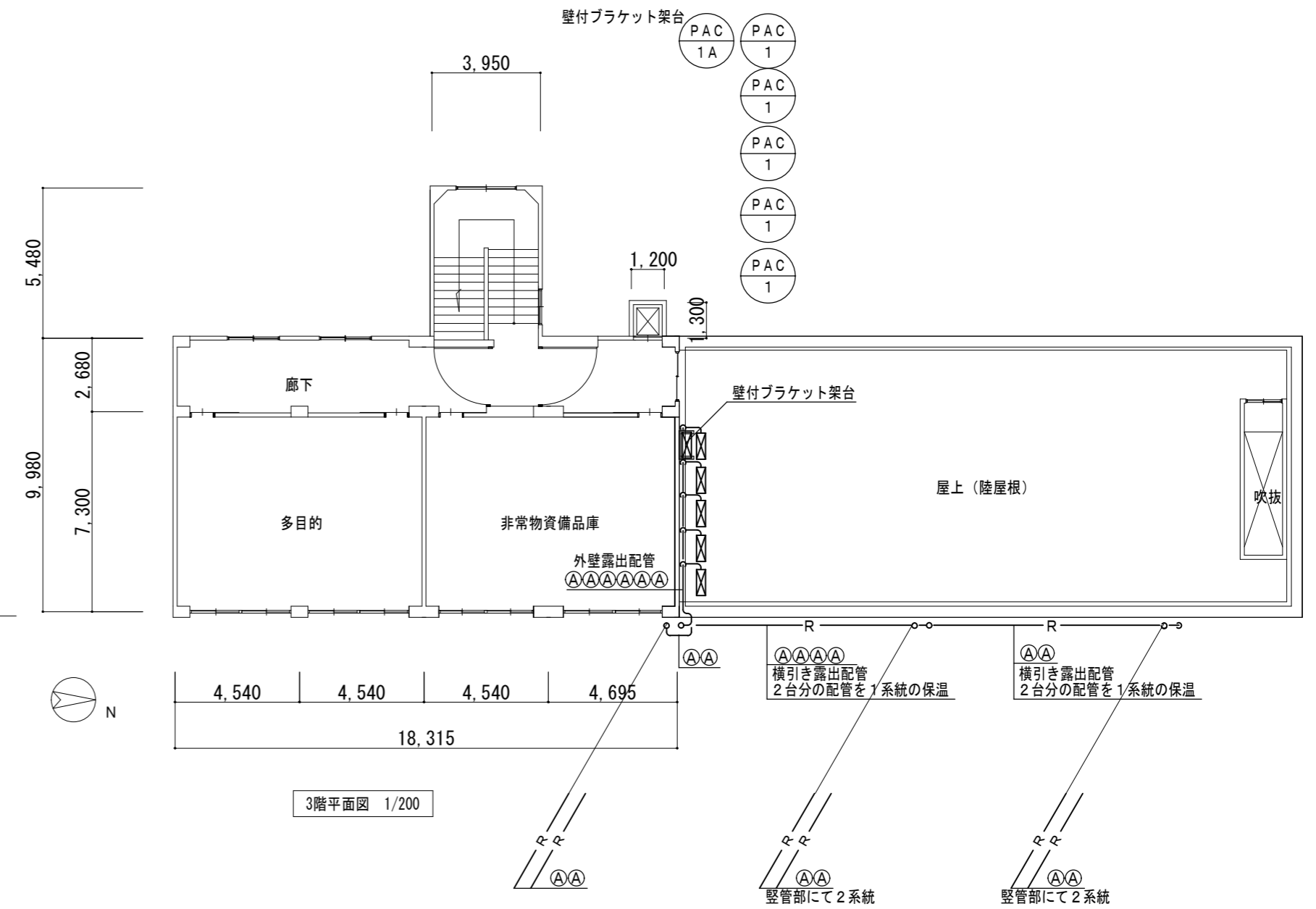
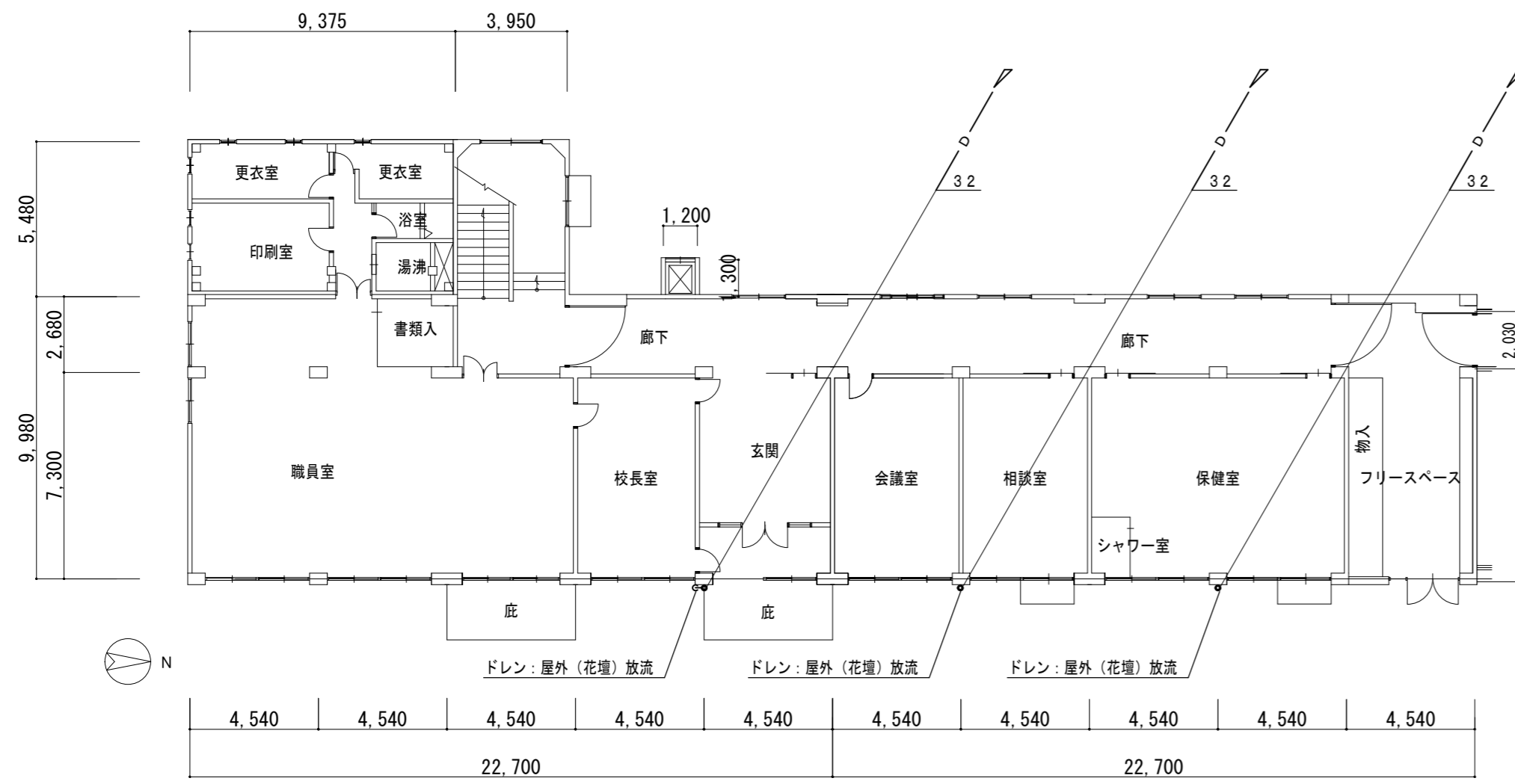
| | | |
|----|----|----|
| 日付 | 担当 | 承認 |
| | | |



冷媒配管配線セットサイズ表 (参考)

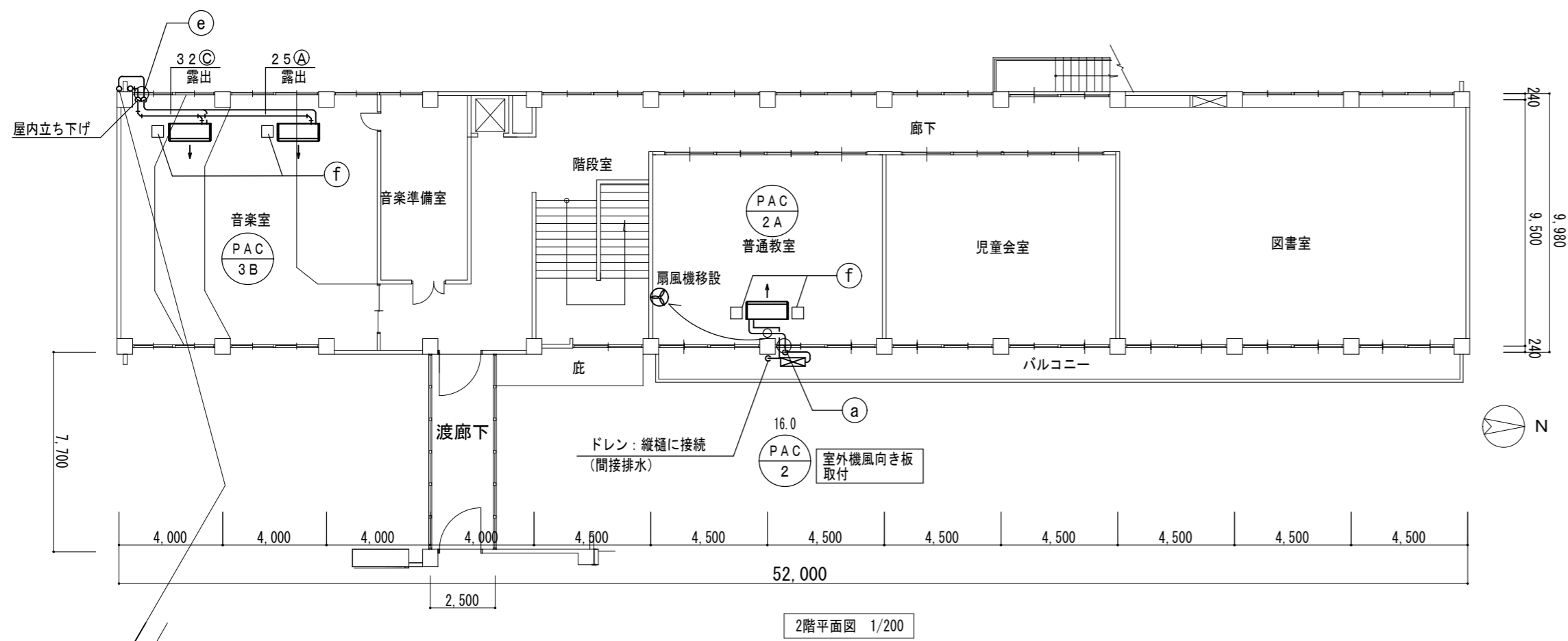
| 記号 | 液 | ガス | 渡り配線 |
|----|-------|-------|------------|
| Ⓐ | 9.5φ | 15.9φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓑ | 9.5φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓒ | 12.7φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |

内外渡り配線は冷媒管抱き合わせ配線とする。
 屋内露出配管、及び屋内露出立ち下げ配管はカーテン、家具等に邪魔にならない様に施工を行う事



津市立安濃小学校

| | | | | |
|-----|------------------------------------|------|-----------------------------------|------------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 | 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原図 A2 |
| | TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 | 伊藤 公 | 図面名 空調設備 教室、特別教室管理棟 1~3階平面図 | 縮尺 A2:S=1/200 |
| | 日付 | 担当 | 承認 | 図面番号 M-04 |



2階平面図 1/200

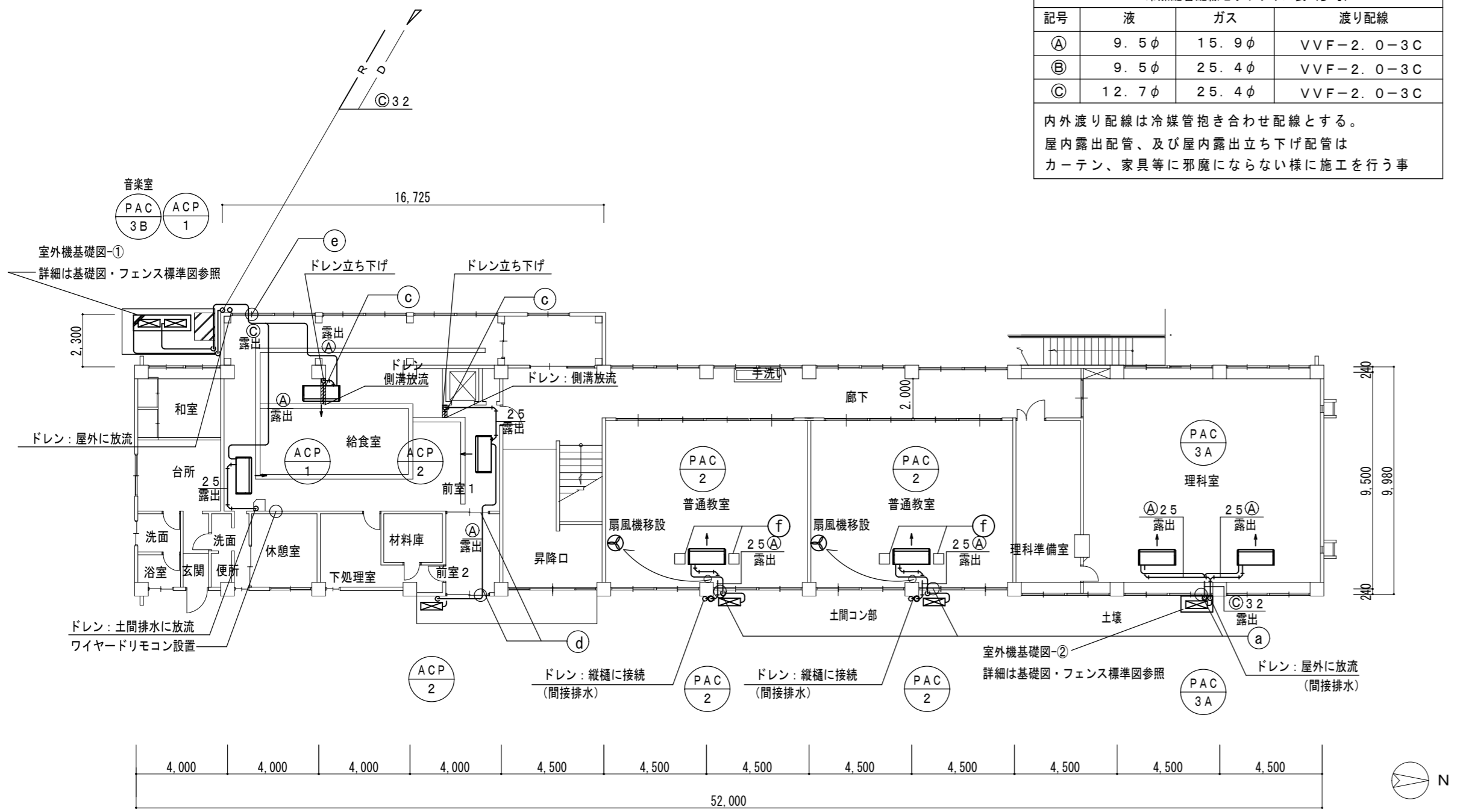
冷媒配管配線セットサイズ表 (参考)

| 記号 | 液 | ガス | 渡り配線 |
|----|-------|-------|------------|
| Ⓐ | 9.5φ | 15.9φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓑ | 9.5φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓒ | 12.7φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |

内外渡り配線は冷媒管抱き合わせ配線とする。
 屋内露出配管、及び屋内露出立ち下げ配管はカーテン、家具等に邪魔にならない様に施工を行う事

凡例

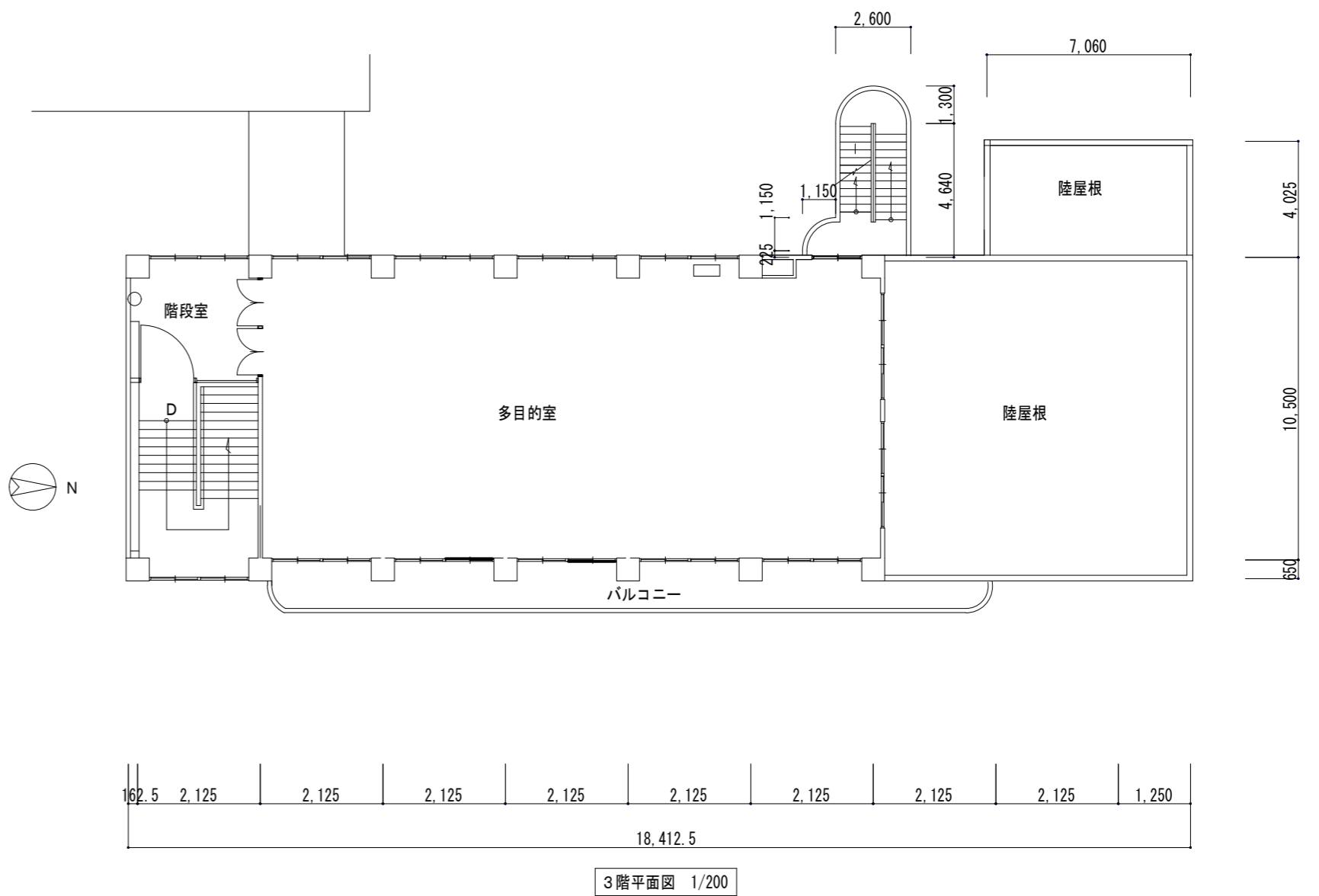
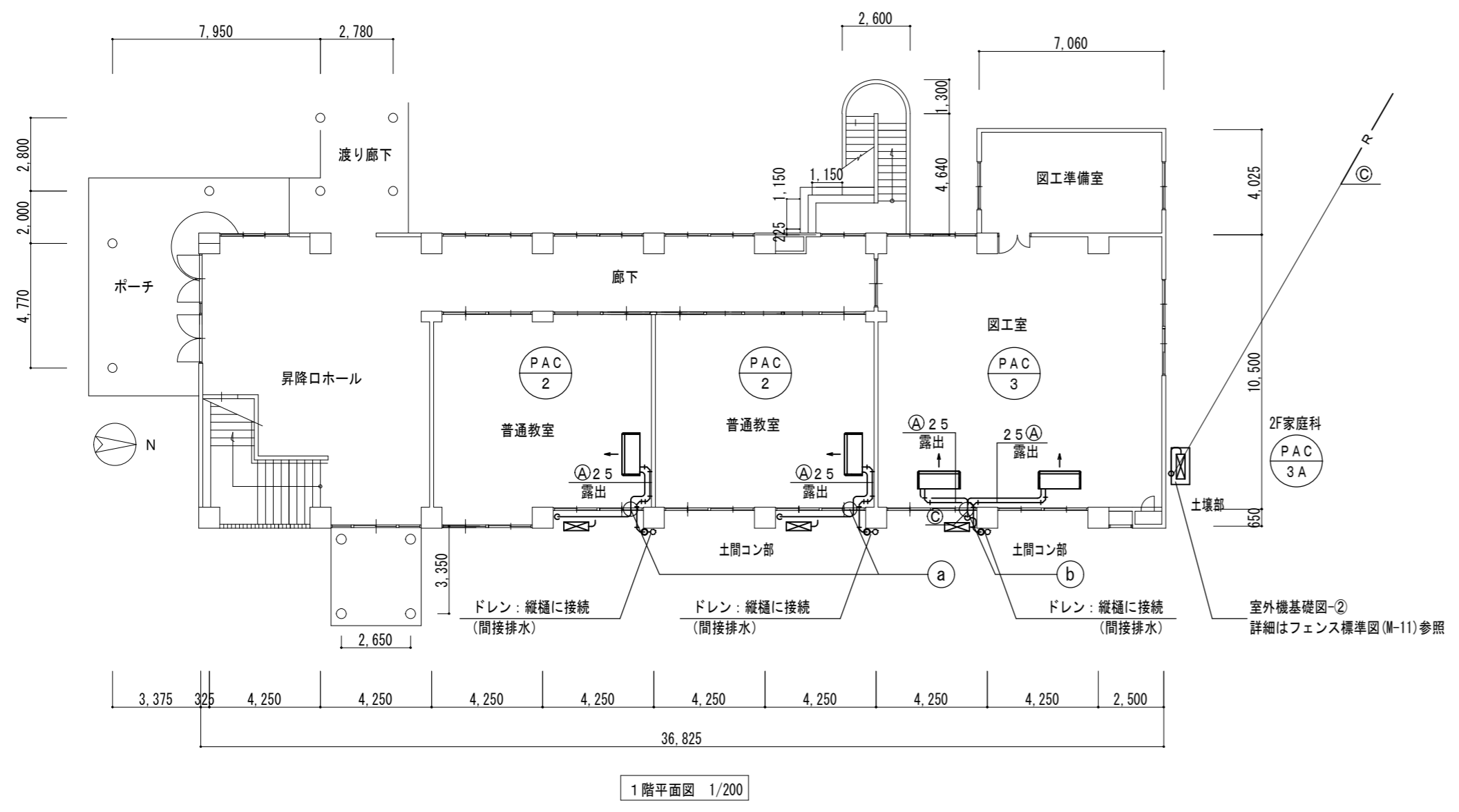
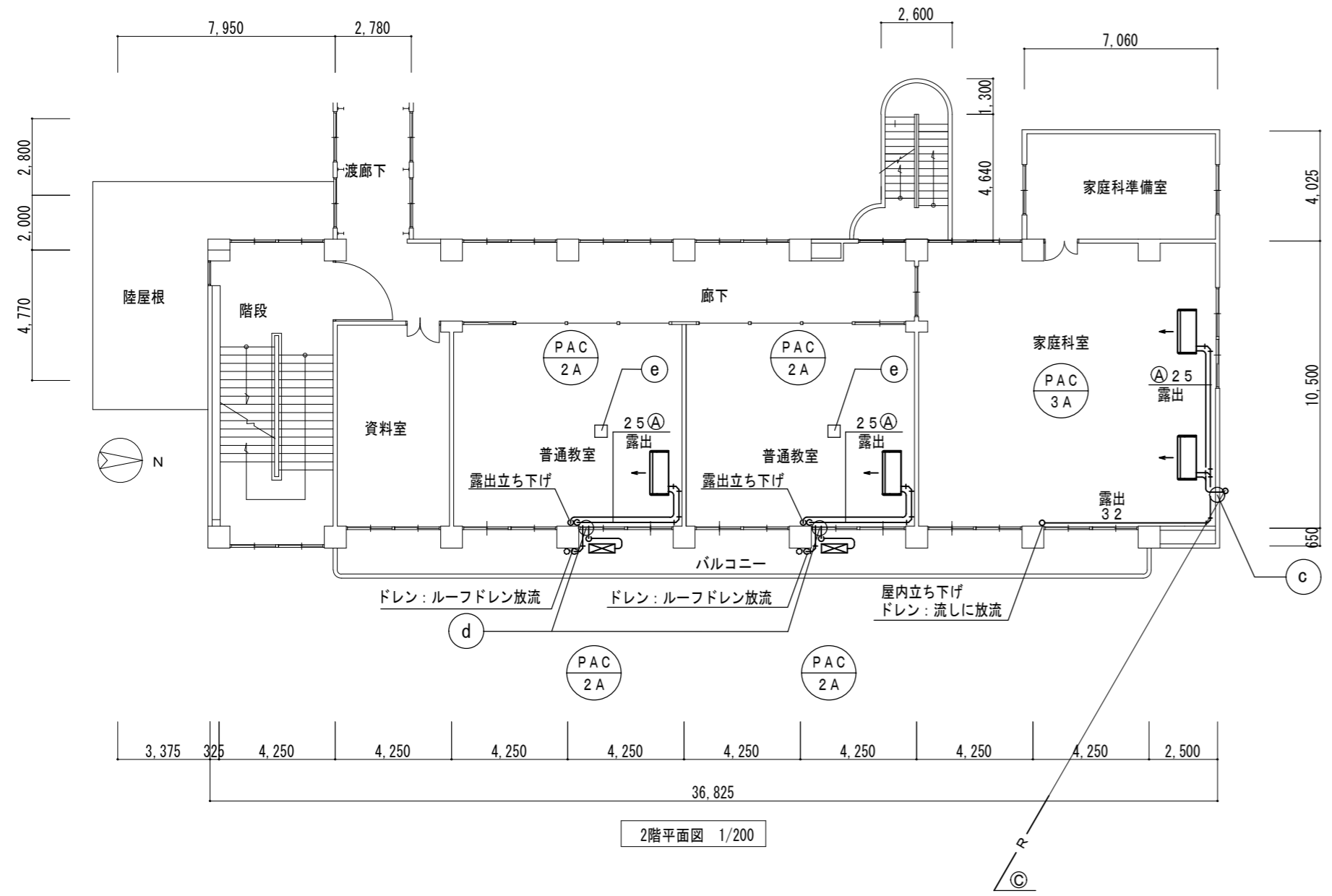
| | | | |
|---|--|--|--------------|
| Ⓐ | 既設サッシ改修 フロートガラスt3.0 W890xH810 撤去 アルミパネル t3.0 W300xH810 新設 強化透明ガラス t5.0 W550xH810 新設 縦桟W40、障子スッパ-共 | | 既設サッシ改修 1/50 |
| Ⓑ | 既設サッシ改修 フロートガラスt3.0 W1620xH290 撤去 アルミパネル t3.0 W300xH290 新設 網入りガラス t6.8 W1280xH290 新設 縦桟W40、障子スッパ-共 | | 既設サッシ改修 1/50 |
| Ⓒ | 清研り: W=200 H=50 (ドレン配管) | | |
| Ⓓ | 既設アルミパネル 穴あけ100φ | | |
| Ⓔ | 腰壁 コア抜き 100φ | | |
| Ⓕ | 天井点検口 アルミ製450x450 | | |
| Ⓖ | 扇風機 移設 | | |

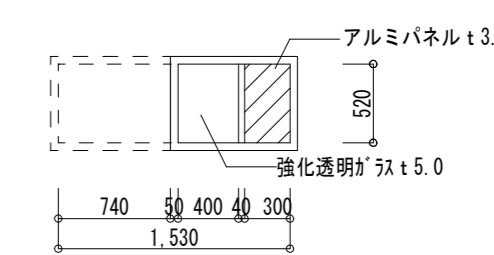
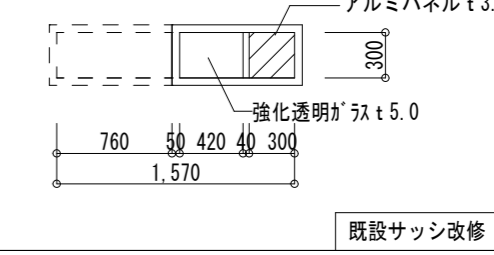


1階平面図 1/200

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|---|---|------------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号 143379 TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原図 A2 |
| | 日付 | 図面名 空調設備 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1階・2階平面図 | 縮尺 A2:S=1/200 |
| | 担当 | 図面番号 M-05 | |
| | 承認 | | |



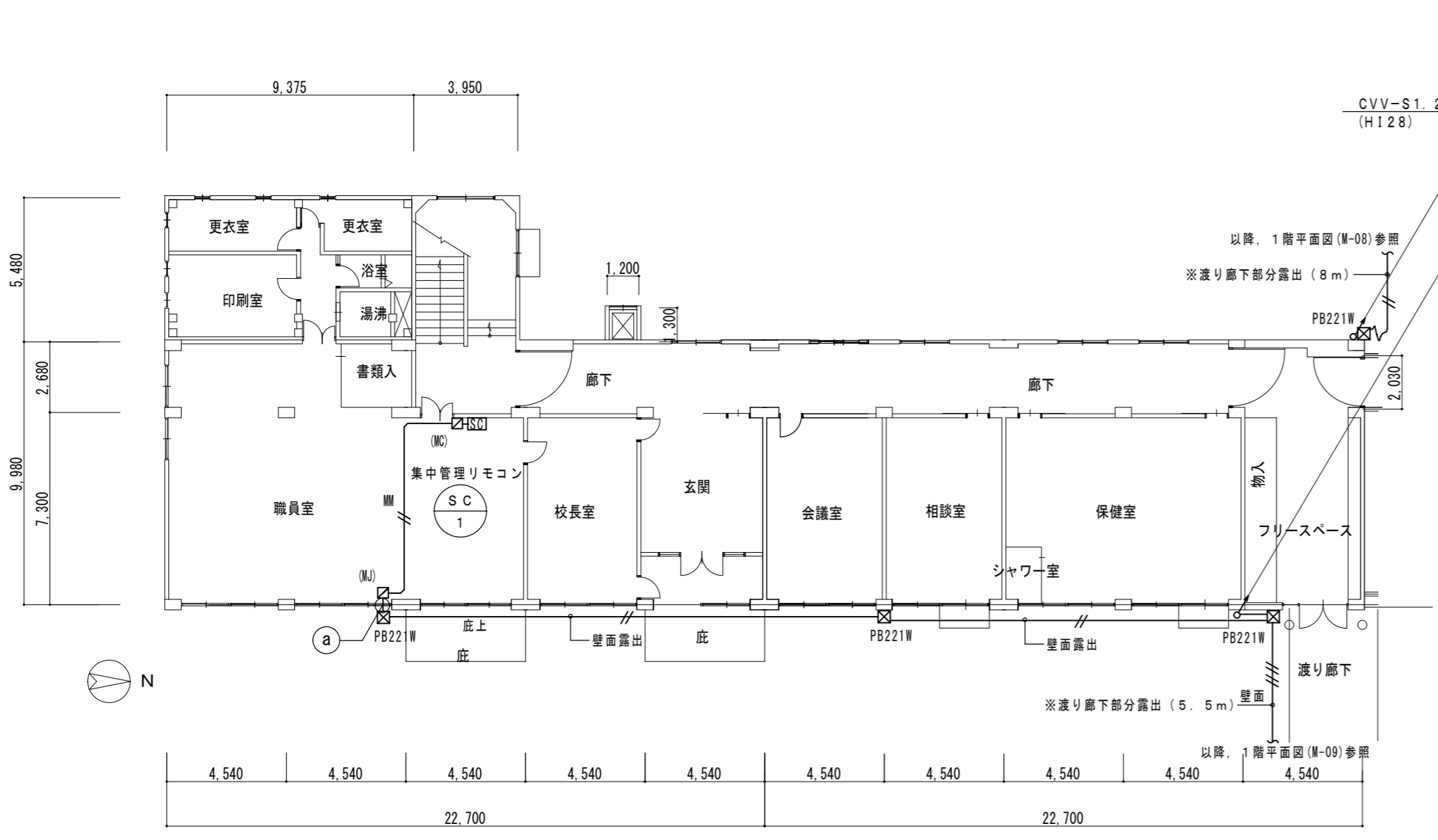
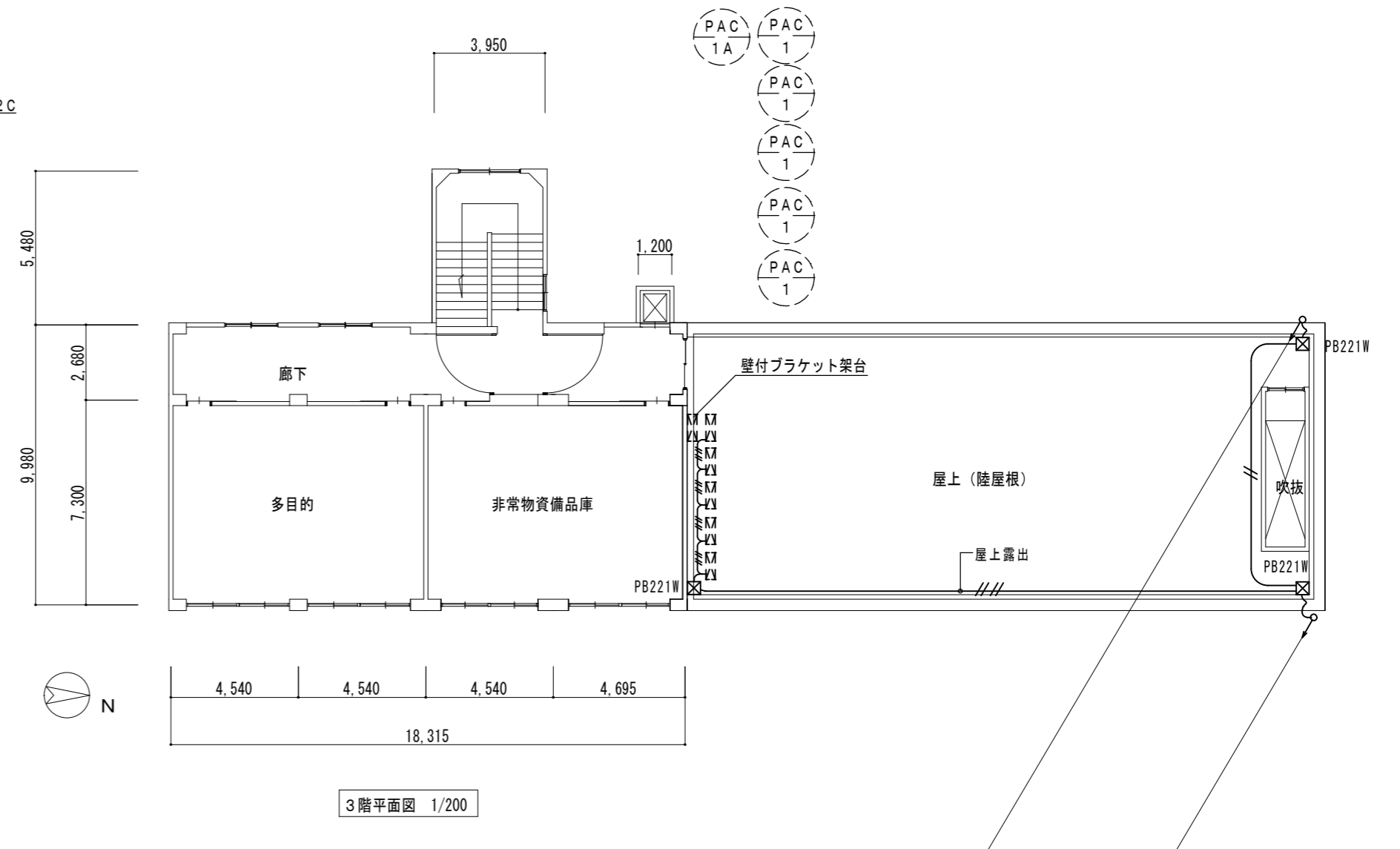
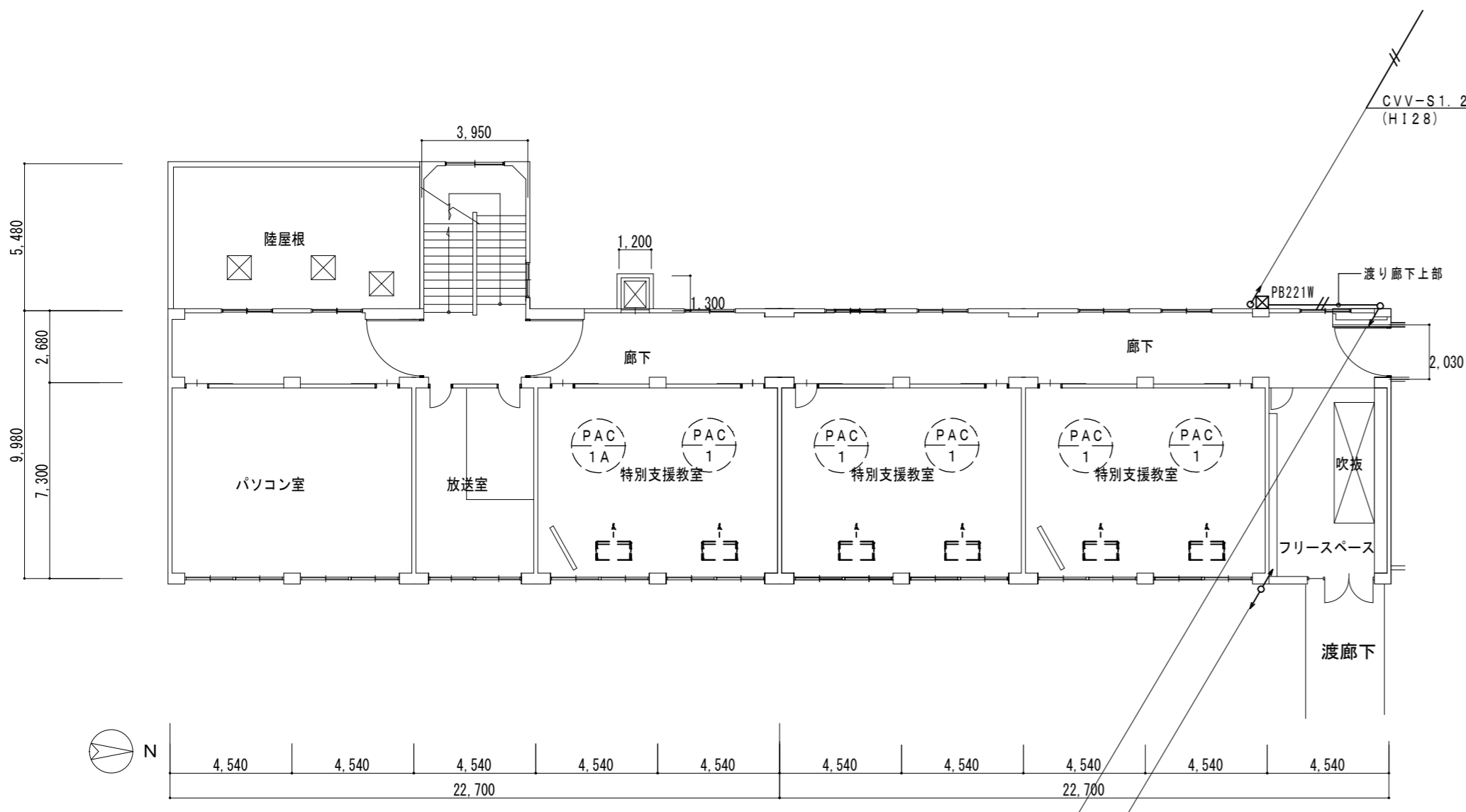
| 凡例 | |
|----|---|
| a | 既設サッシ改修 フロートガラスt3.0 W740xH520 撤去 アルミパネル t3.0 W300xH520 新設 強化透明ガラス t5.0 W400xH520 新設 縦横W40、障子ストッパー共  既設サッシ改修 1/50 |
| b | 既設サッシ改修 フロートガラスt3.0 W760xH300 撤去 アルミパネル t3.0 W300xH300 新設 強化透明ガラス t5.0 W420xH300 新設 縦横W40、障子ストッパー共  既設サッシ改修 1/50 |
| c | 外壁 穴あけ 100φ |
| d | 隠壁 コア抜き 100φ |
| e | 天井点検口 アルミ製450×450 |

| 冷媒配管配線セットサイズ表 (参考) | | | |
|--------------------|-------|-------|------------|
| 記号 | 液 | ガス | 渡り配線 |
| Ⓐ | 9.5φ | 15.9φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓑ | 9.5φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |
| Ⓒ | 12.7φ | 25.4φ | VVF-2.0-3C |

内外渡り配線は冷媒管抱き合わせ配線とする。
 屋内露出配管、及び屋内露出立ち下げ配管は
 カーテン、家具等に邪魔にならない様に施工を行う事

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------------------|------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号 143379 | 工事名 | 原図 |
| | 伊藤 公 | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| 日付 | 担当 | 図面名 | 縮尺 |
| | 承認 | 空調設備 教室、特別教室、多目的教室棟 1~3階平面図 | A2:S=1/200 |
| | | | 図面番号 |
| | | | M-06 |

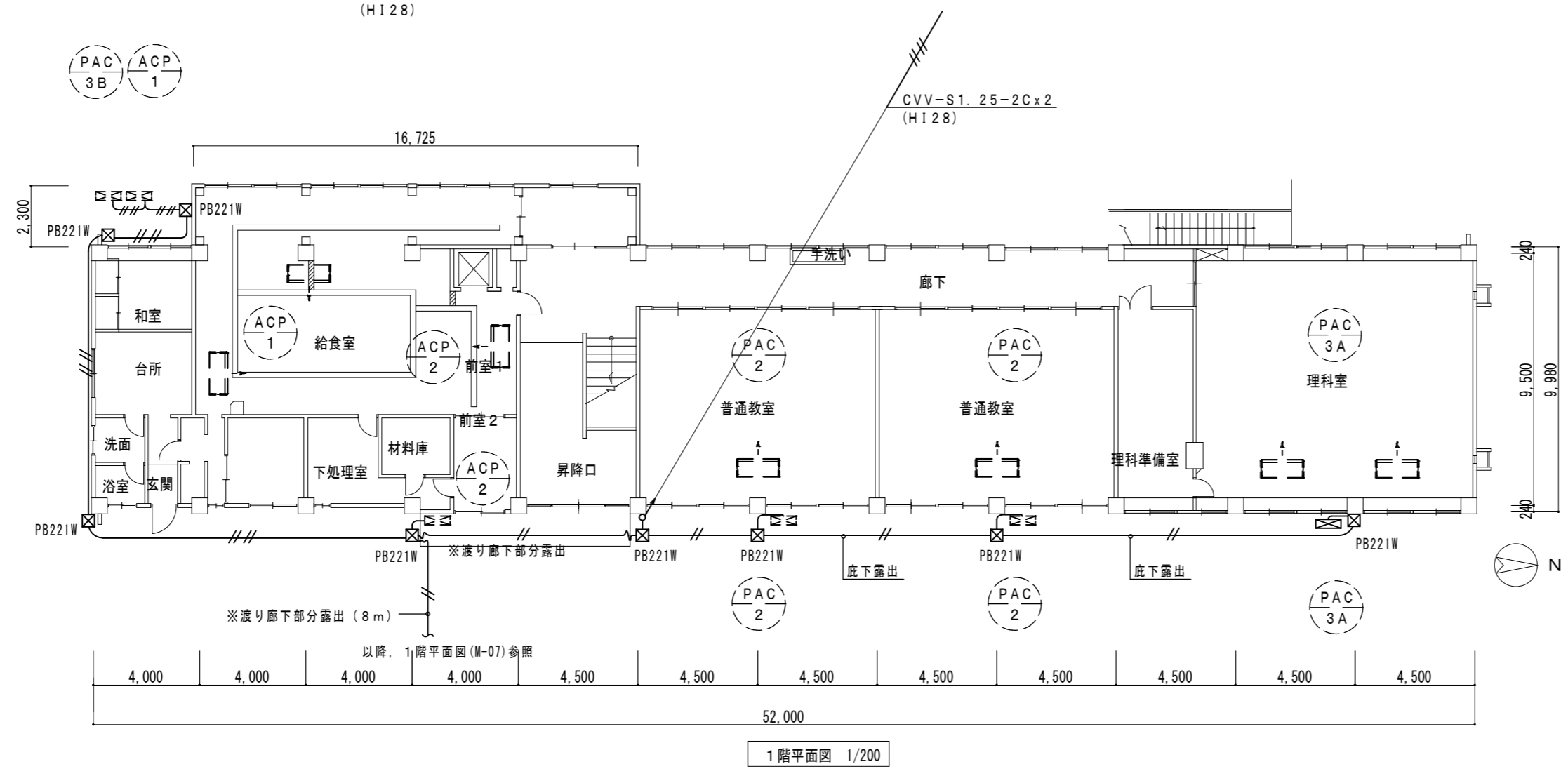
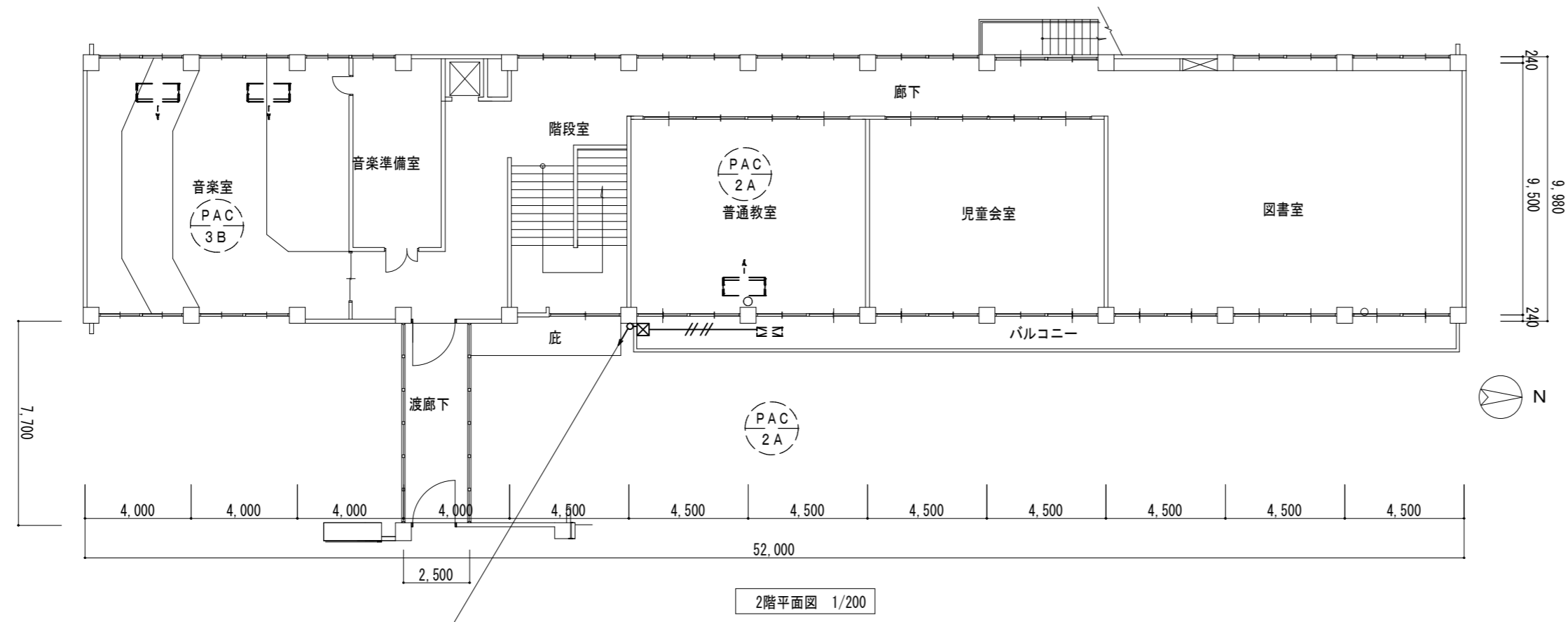


| 凡例 | |
|-----|-----------------|
| (a) | 既設7mm杉 穴あけ 100φ |

| 凡例 (参考) | |
|---|---------------------------|
| 図中記入なき配線は下記とする。 | |
| [SC] | 集中管理リモコン |
| —//— | VVF2.0-3C (1E) |
| —//— | CVV-S1.25-2C (HI28) |
| —//— | CVV-S1.25-2C×2 (HI28) |
| — | 1種金属線び |
| [MC] | 同上コーナーボックス |
| [MJ] | 同上ジャンクションボックス |
| PB221W | PB2: 200X200X100 (SUS WP) |
| PB32W | PB3: 300X300X200 (SUS WP) |
| PB | PB3: 300X300X200 (SS) |
| 二重天井内はケーブルこしがし配線とし、コンクリート部及び壁立下り部は電線管(PF)にて保護とする。 | |
| 屋外露出部は、電線管(HI28)にて保護とする。 | |
| 屋上配管で1.5mを超える場合は伸縮カップリングを取り付けること。 | |
| 屋上配管支持ブロックは、ゴムベース付とする。 | |

津市立安濃小学校

| | | | | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------|------|---------------------------|------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 | 1級建築士大臣登録番号 143379 | 伊藤 公 | 工事名 | 原図 |
| | TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 | | | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| | 日付 | 担当 | 承認 | 図面名 | 縮尺 |
| | | | | 空調制御設備 1~3階平面図 | A2:S=1/200 |
| | | | | 教室、特別教室管理棟 | M-07 |



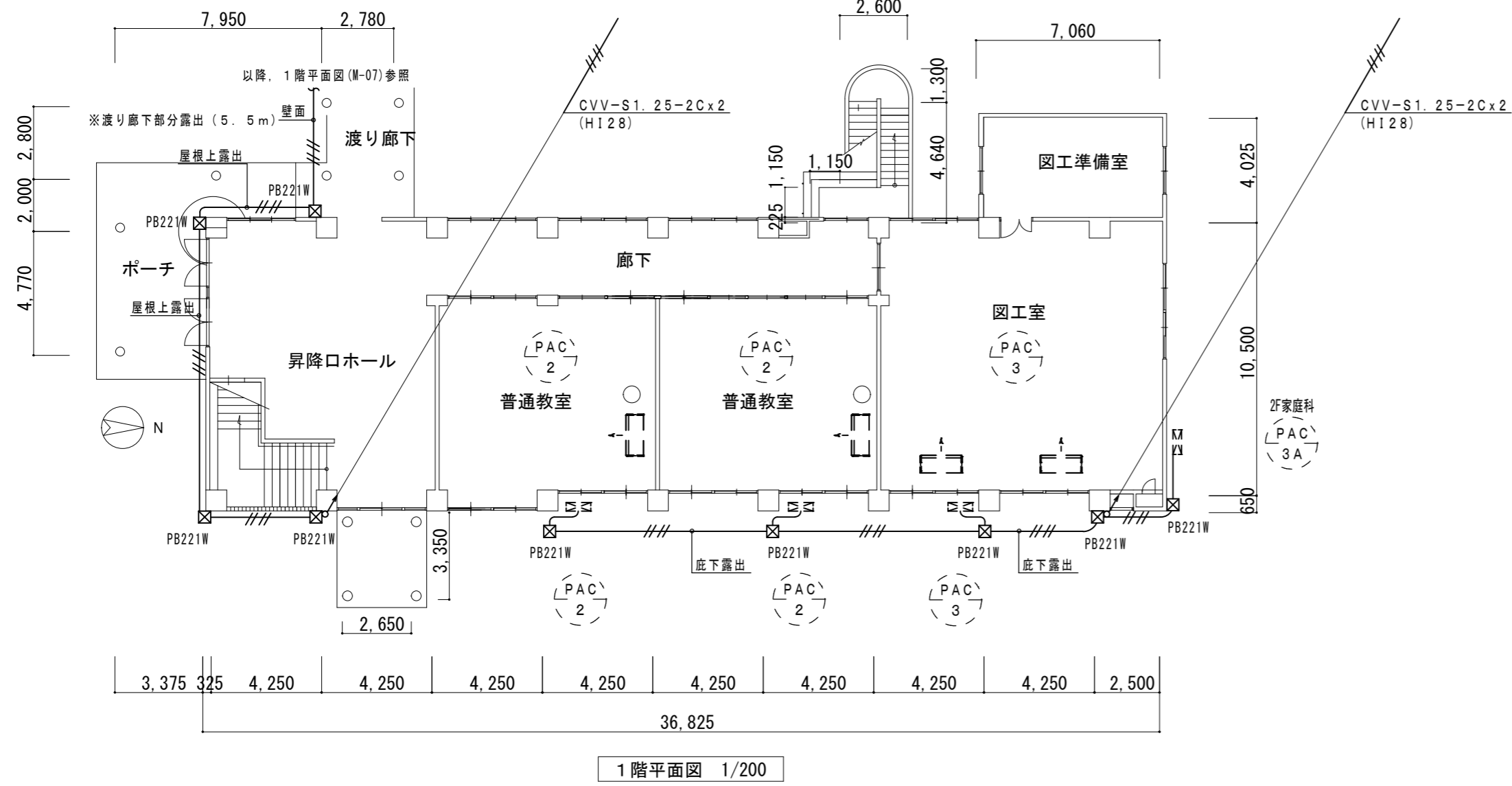
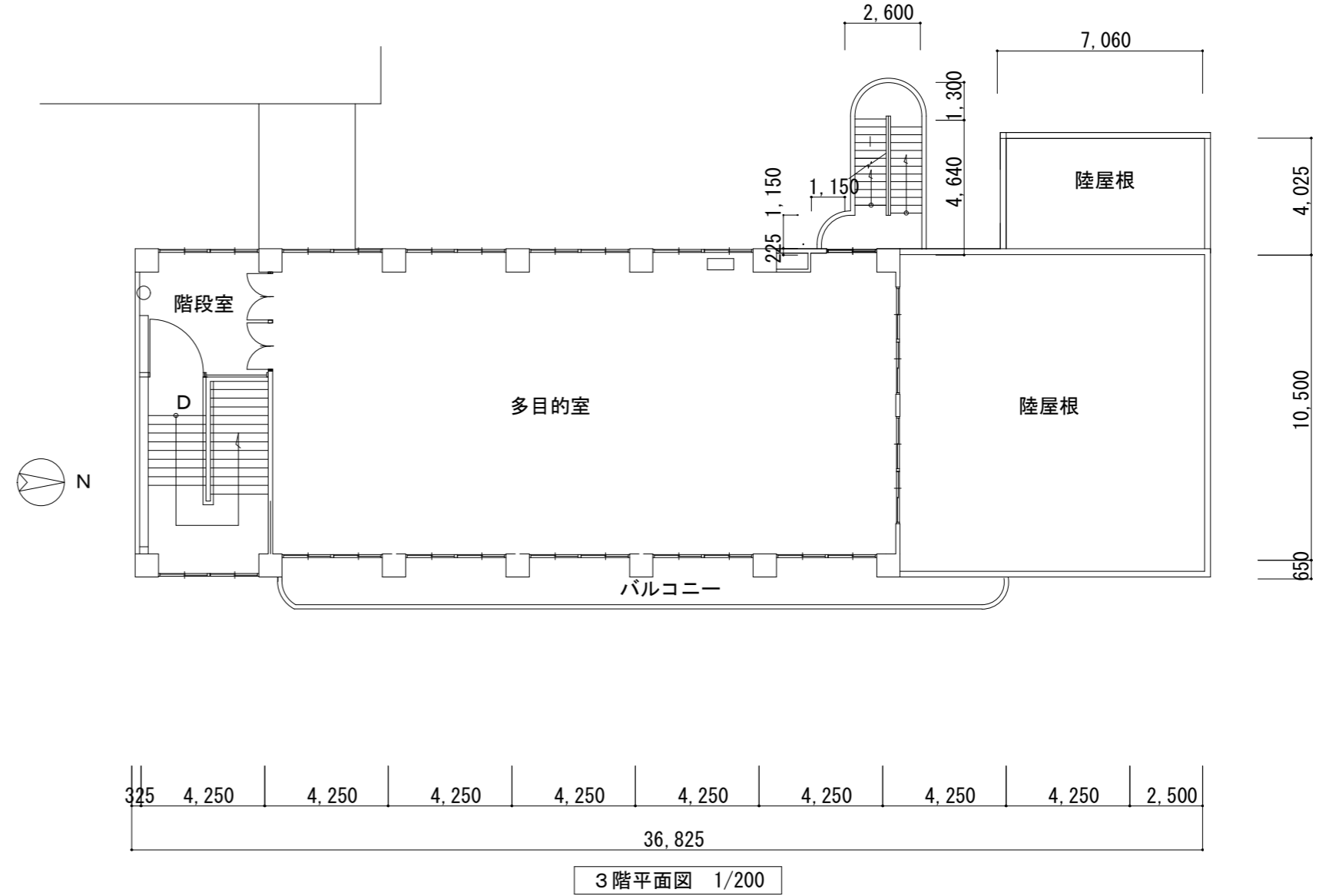
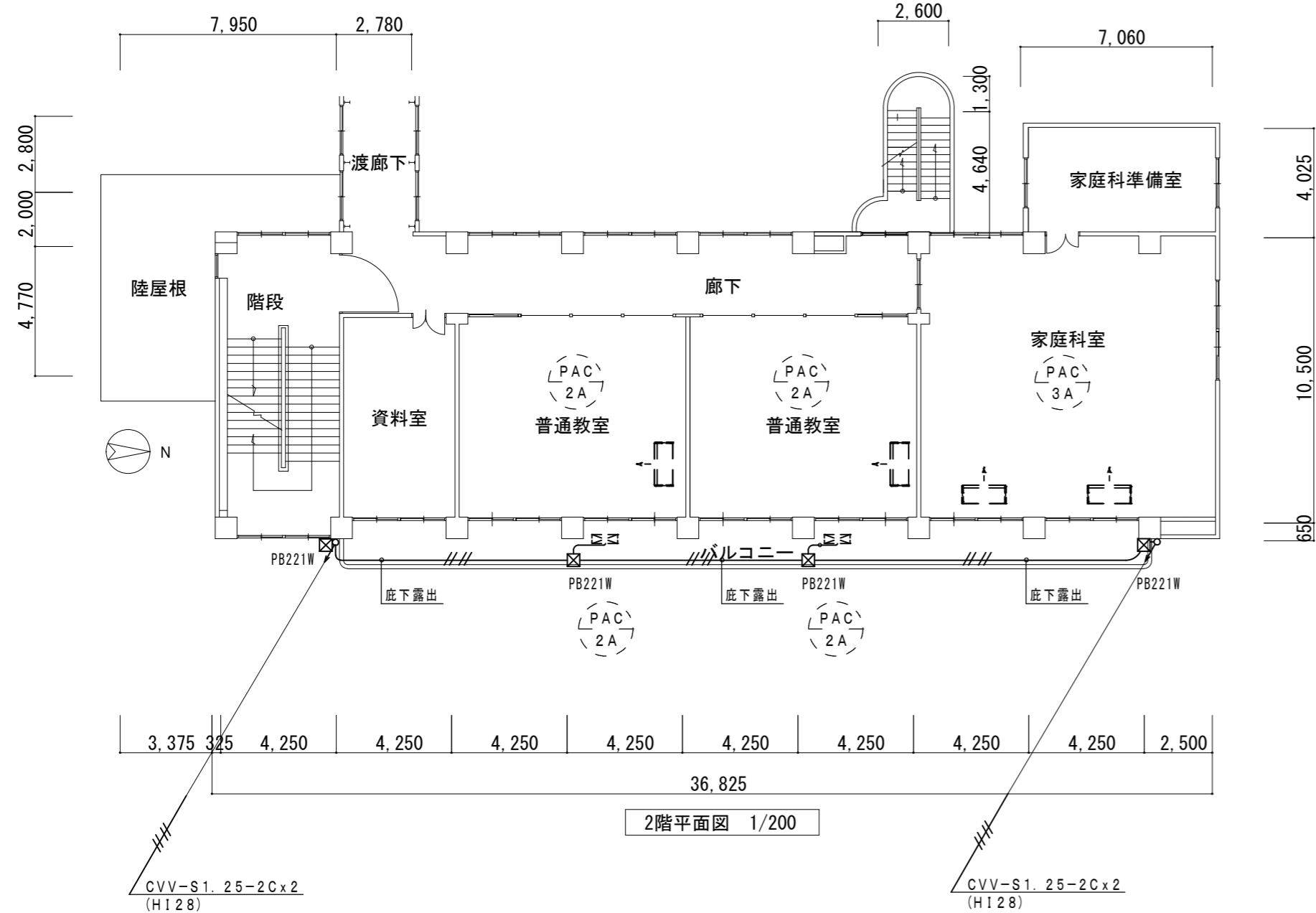
凡例 (参考)

| | |
|--------|---------------------------|
| [SC] | 集中管理リモコン |
| —//— | VVF2.0-3C (1E) |
| —//— | CVV-S1.25-2C (H128) |
| —//— | CVV-S1.25-2Cx2 (H128) |
| [UM] | 1種金属線び |
| [MC] | 同上コーナーボックス |
| [MO] | 同上ジャンクションボックス |
| PB221W | PB2: 200X200X100 (SUS WP) |
| PB32W | PB3: 300X300X200 (SUS WP) |
| PB | PB3: 300X300X200 (SS) |

二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁立下り部は電線管(PF)にて保護とする。
 屋外露出部は、電線管(H128)にて保護とする。
 屋上配管で15mを超える場合は伸縮カップリングを取り付けること。
 屋上配管支持ブロックは、ゴムベース付とする。

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|-------------------------------------|-----------------------------------|------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号 143379 | 工事名 | 原図 |
| | 伊藤 公 | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| | 日付 | 図面名 | 縮尺 |
| | 担当 | 空調制御設備 教室、特別教室、給食室、用務員室棟 1階・2階平面図 | A2:S=1/200 |
| | 承認 | | 図面番号 |
| | | | M-08 |



凡例 (参考)

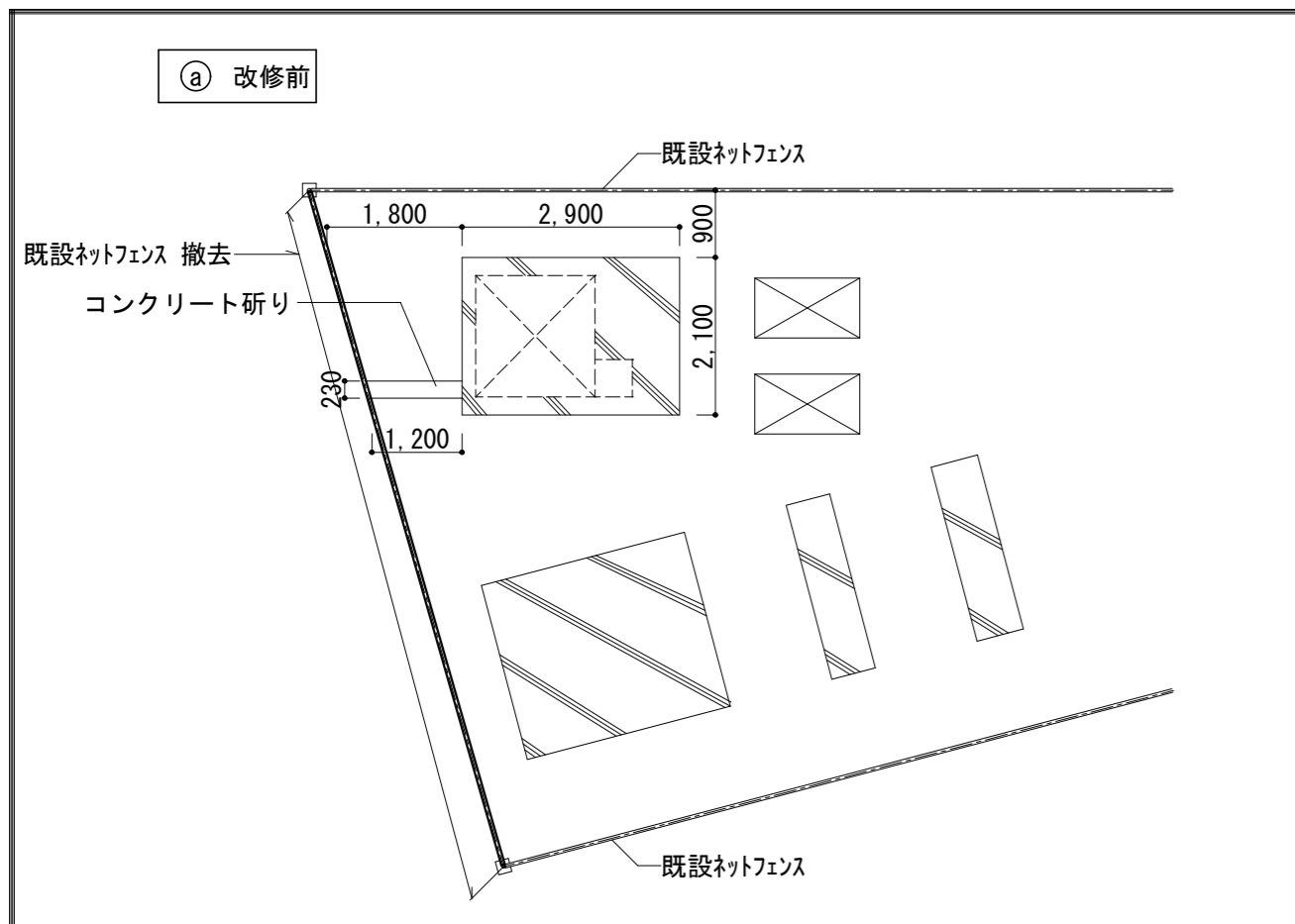
図中記入なき配線は下記とする。

| | |
|--------|---------------------------|
| [SC] | 集中管理リモコン |
| —//— | VVF2.0-3C (1E) |
| —//— | CVV-S1.25-2C (H128) |
| —//— | CVV-S1.25-2Cx2 (H128) |
| (M) | 1種金属線び |
| (M) | 同上コーナーボックス |
| (M) | 同上ジャンクションボックス |
| PB221W | PB2: 200X200X100 (SUS WP) |
| PB322W | PB3: 300X300X200 (SUS WP) |
| PB | PB3: 300X300X200 (SS) |

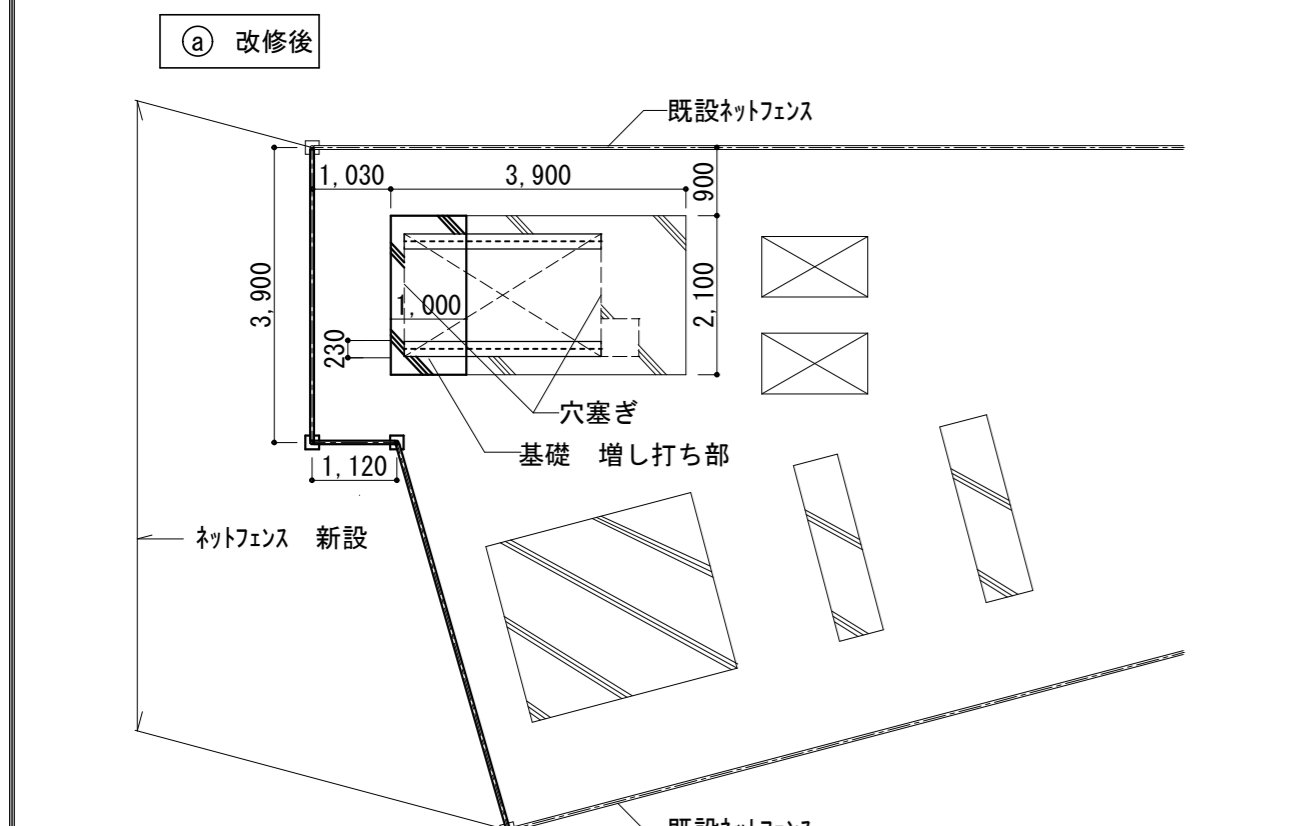
二重天井内はケーブルこころがし配線とし、コンクリート部及び壁立下り部は電線管(PF)にて保護とする。
屋外露出部は、電線管(H128)にて保護とする。
屋上配管で1.5mを超える場合は伸縮カップリングを取り付けること。
屋上配管支持ブロックは、ゴムベース付とする。

津市立安濃小学校

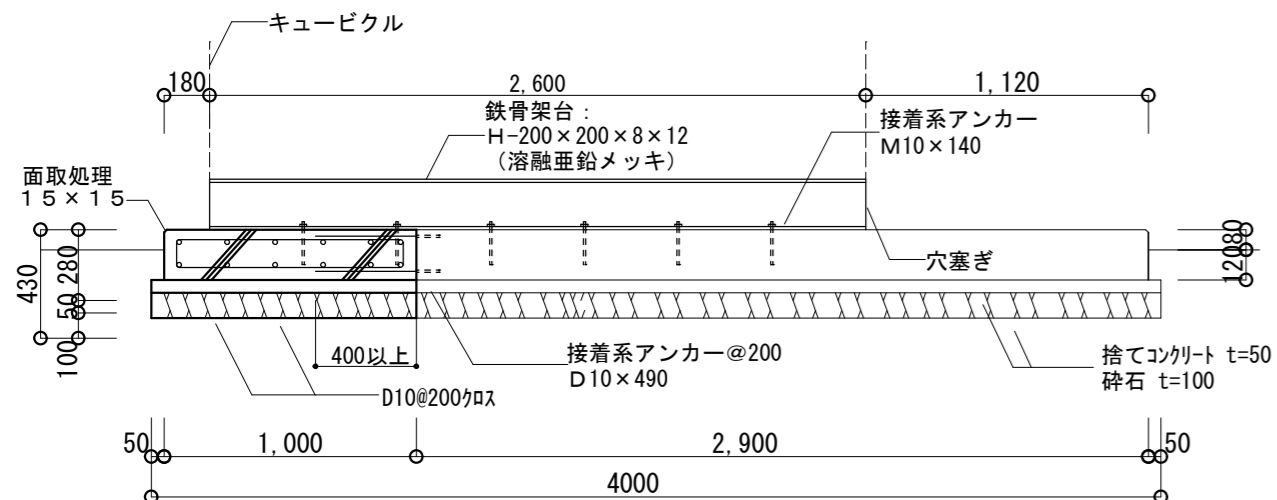
| | | | | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------|------|----------------------------------|------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 | 1級建築士大臣登録番号 143379 | 伊藤 公 | 工事名 | 原図 |
| | TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 | | | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| | 日付 | 担当 | 承認 | 図面名 | 縮尺 |
| | | | | 空調制御設備 教室、特別教室、多目的教室棟 1~3階平面図 | A2:S=1/200 |
| | | | | | 図面番号 |
| | | | | | M-09 |



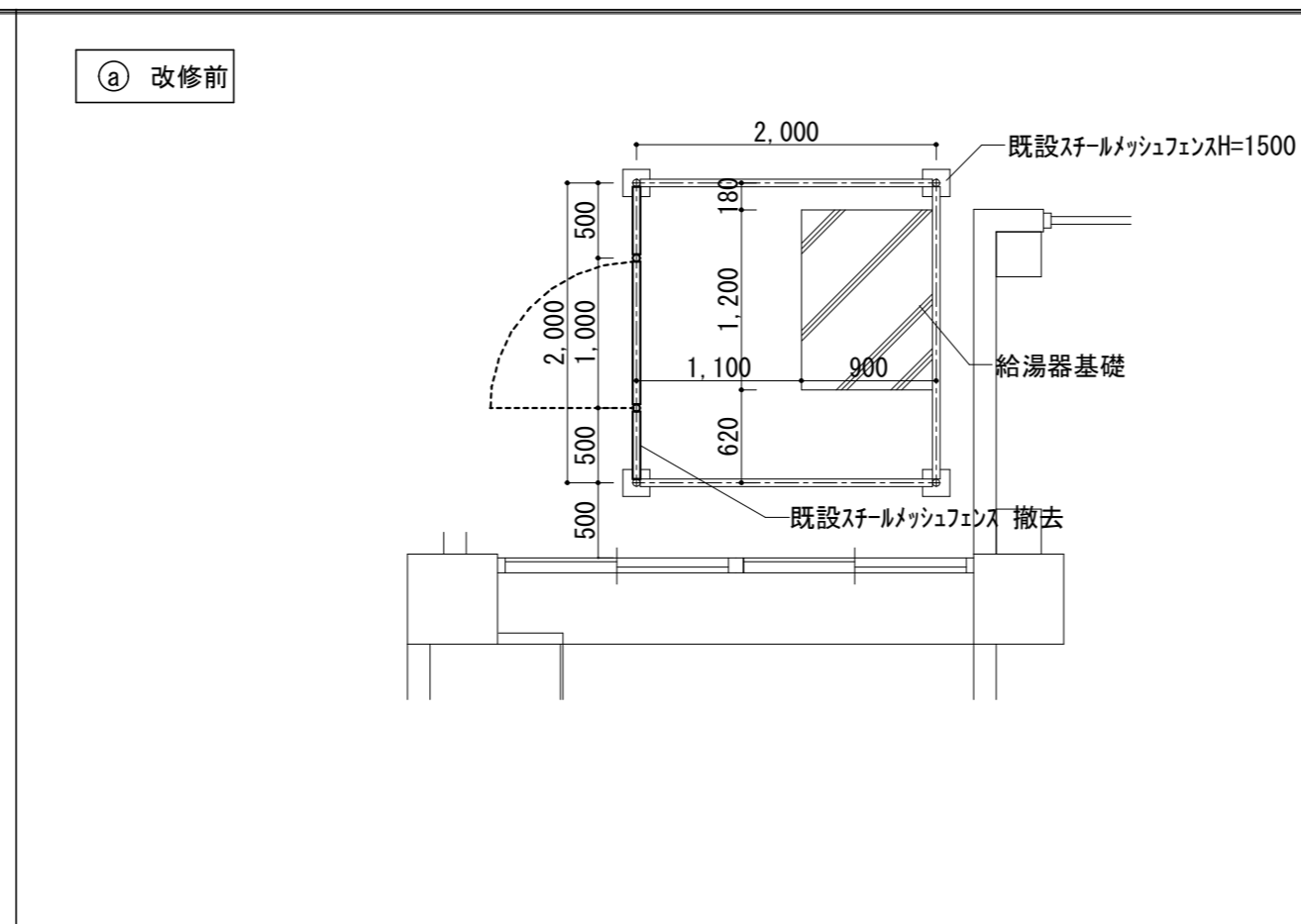
既設キュービクル廻り 詳細図 S=1/100



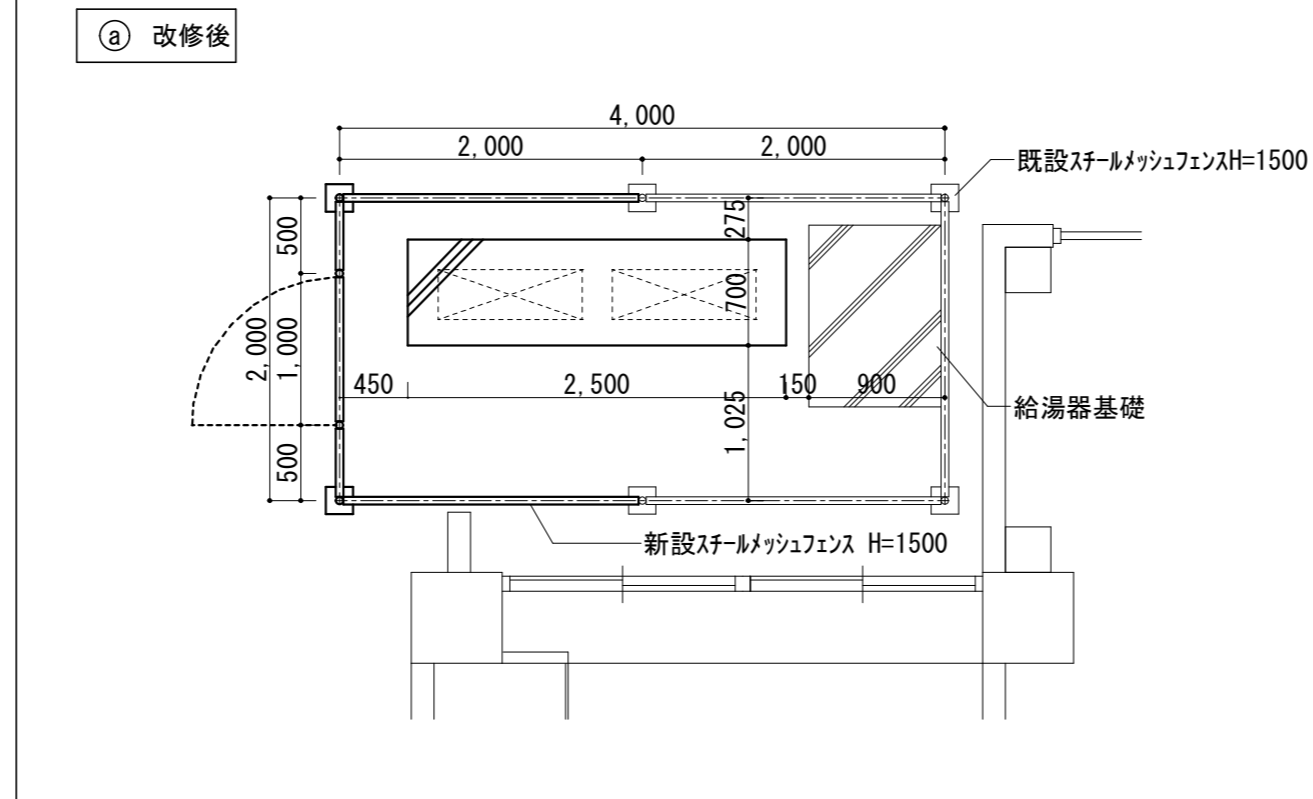
キュービクル廻り 詳細図 S=1/100



基礎詳細図 S=1/30 コンクリートFc=21N

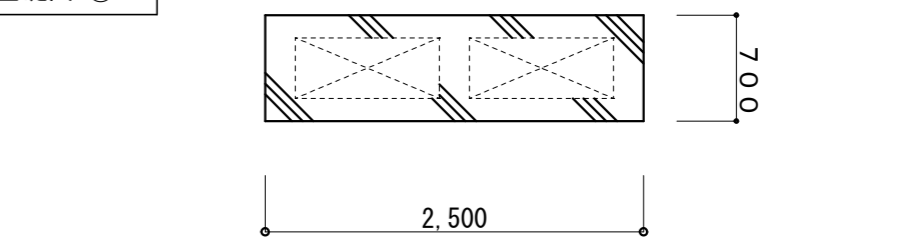


(a) 改修後

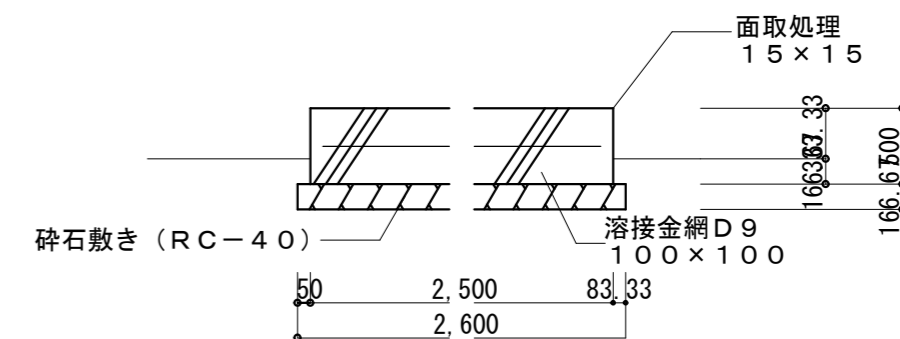


基礎詳細図 S=1/30 コンクリートFc=21N

室外機基礎図-①



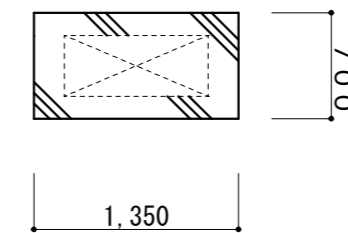
室外機置場基礎平面図 S=1/50



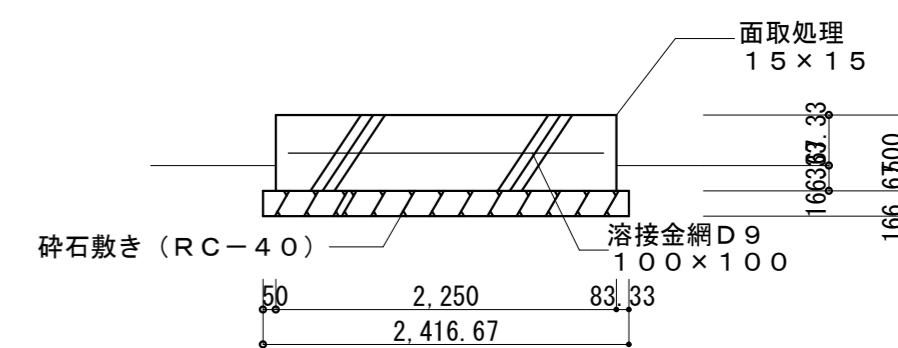
基礎断面図-1 (土場上部) S=1/30

コンクリートFc=18N

室外機基礎図-②



室外機置場基礎平面図 S=1/50



基礎断面図-1 (土場上部) S=1/30

コンクリートFc=18N

津市立安濃小学校

※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379

TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115

伊藤 公

工事名
津市立安濃小学校
普通教室等空調設備設置工事

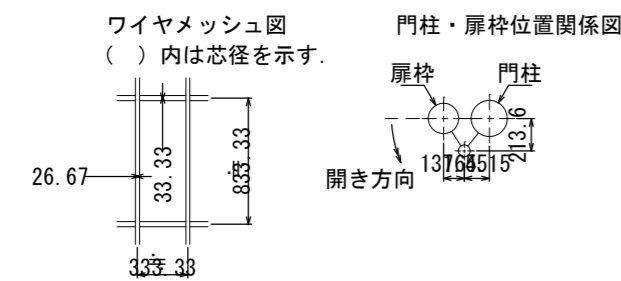
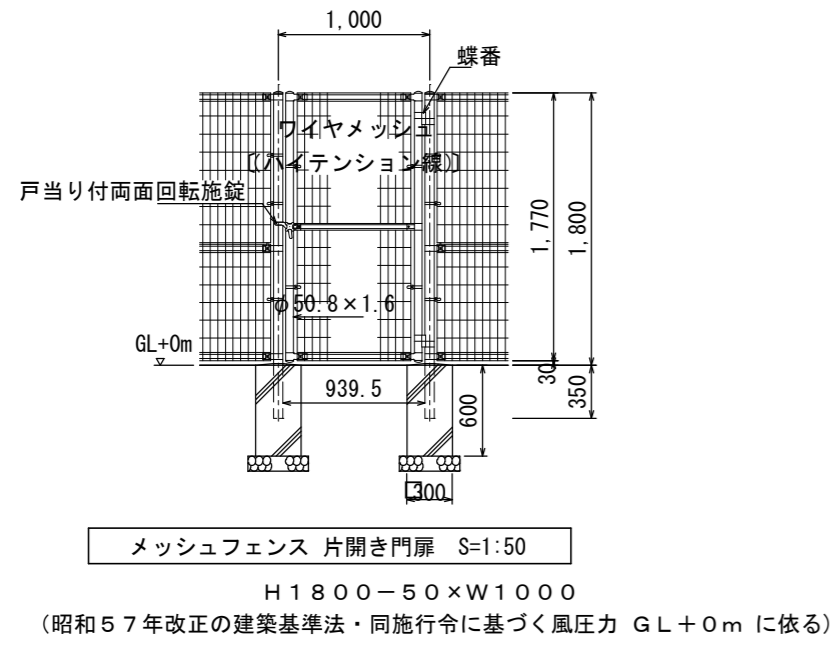
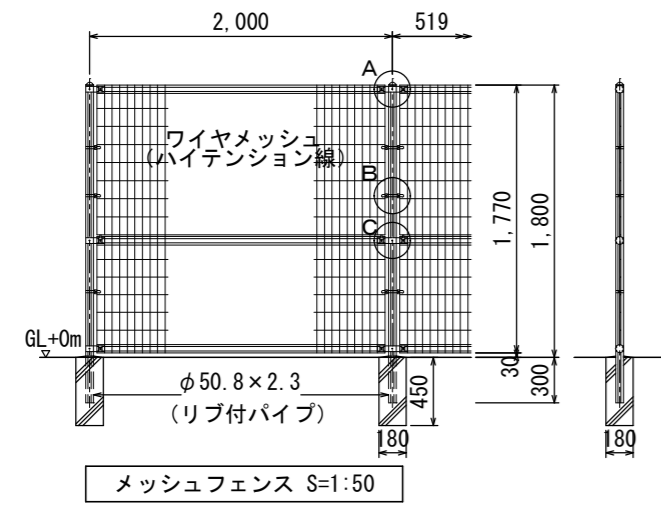
原図

A2

日付 担当 承認

図面名 縮尺 図面番号

基礎図 A2:S=1/30 1/50, 1/100 M-10



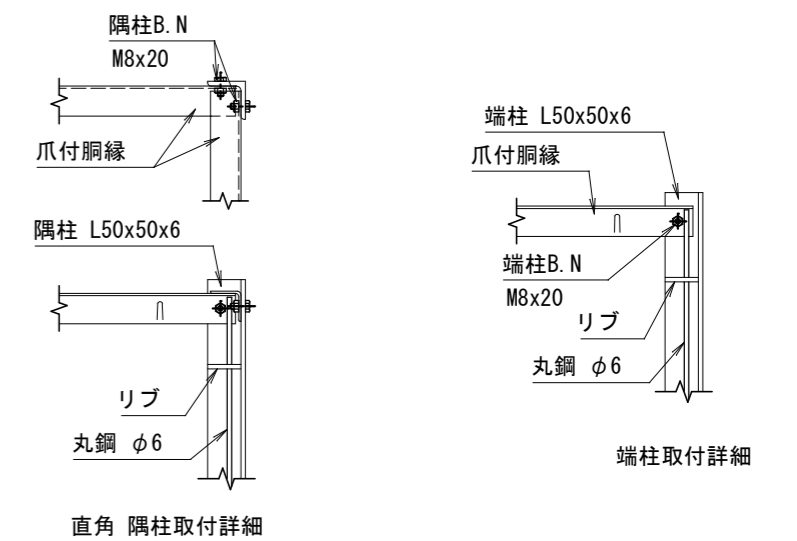
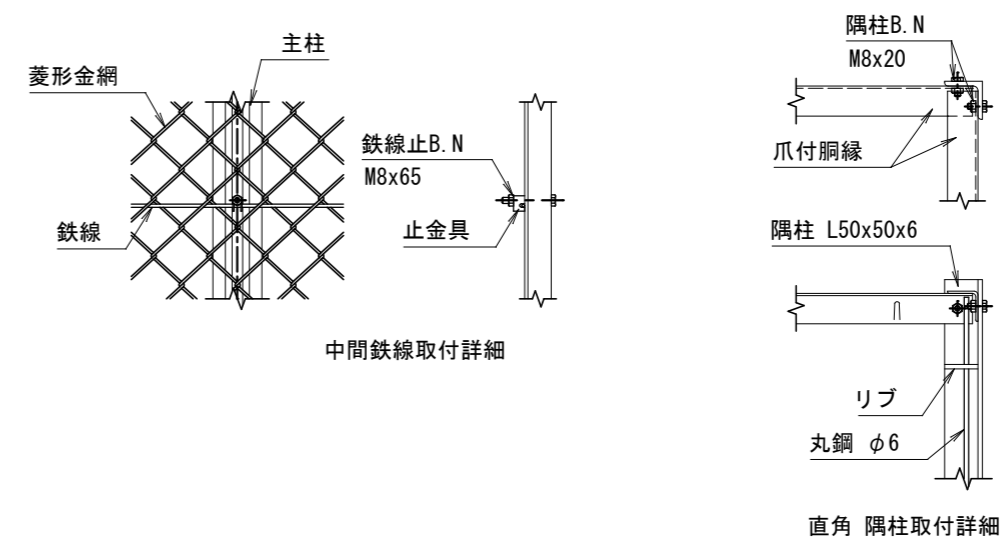
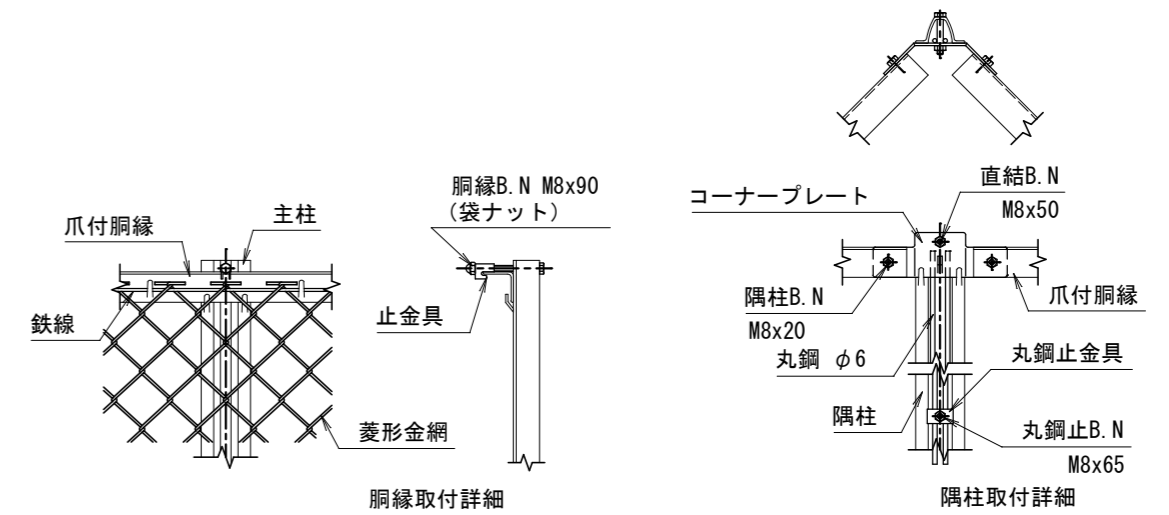
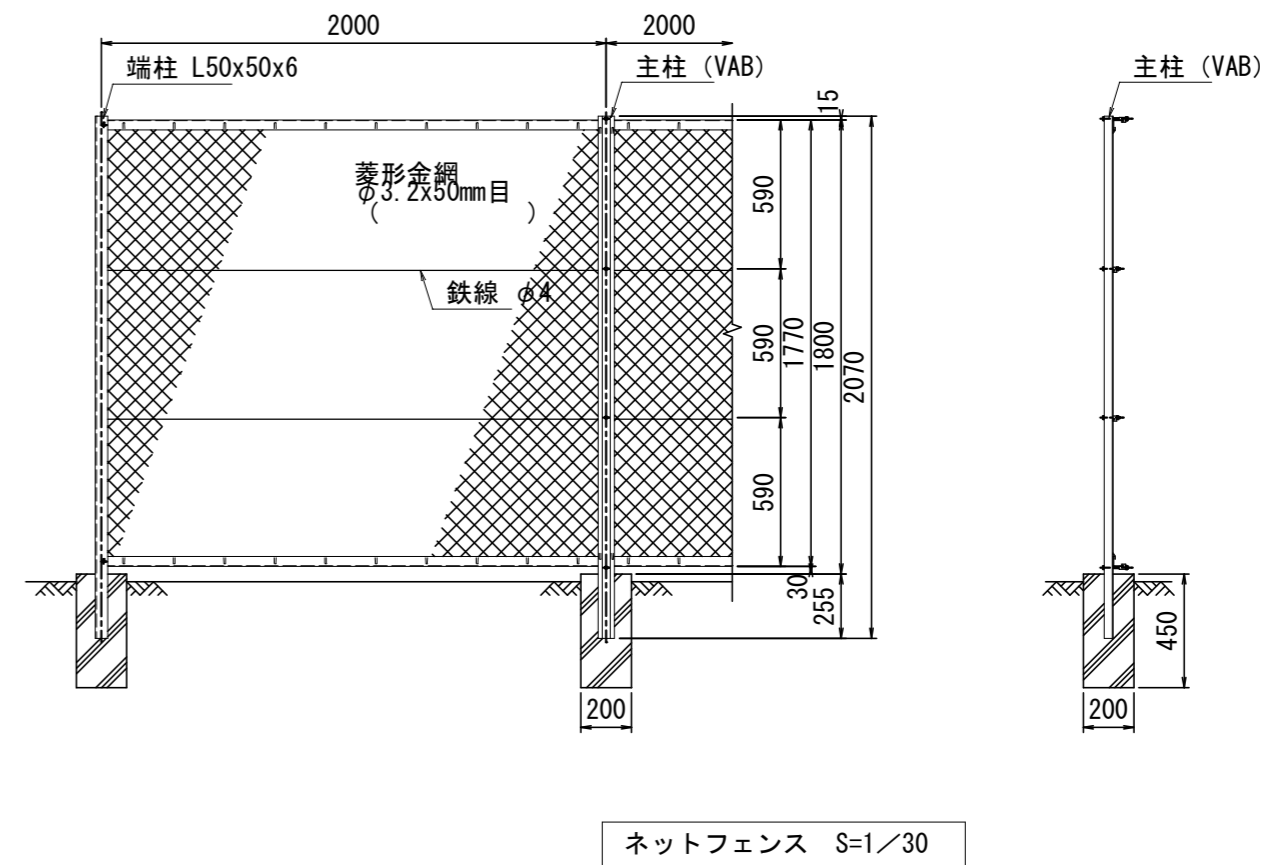
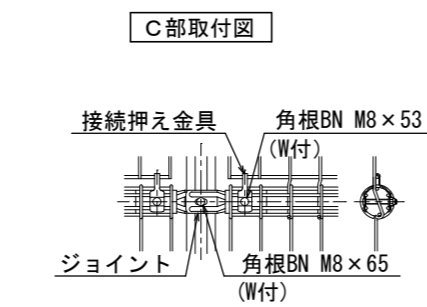
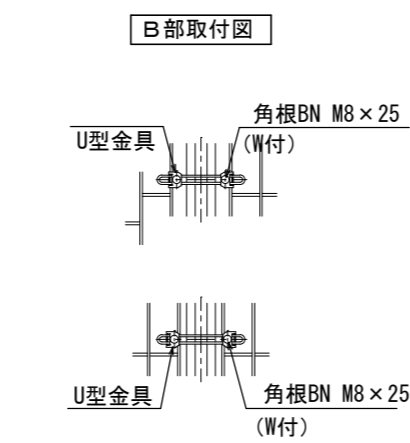
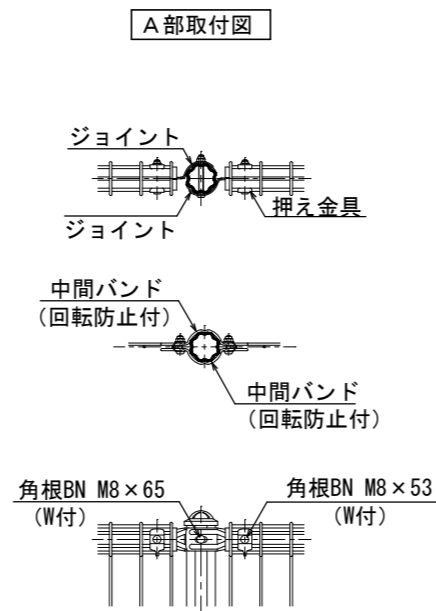
設計条件
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

- ・門柱、枠体
 ジョイント ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 押え金具 ・・・
- 1. 外装について
- ・バンド ・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
- ・ワイヤメッシュ亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 きの上防錆着色処理
- ・U型金具 ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき
- ・ボルト、ナット ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
- ・戸当り付両面回転施錠 ・・・ 溶融亜鉛めっきのみ

本図門扉は片側180°開きとする。

2. 基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

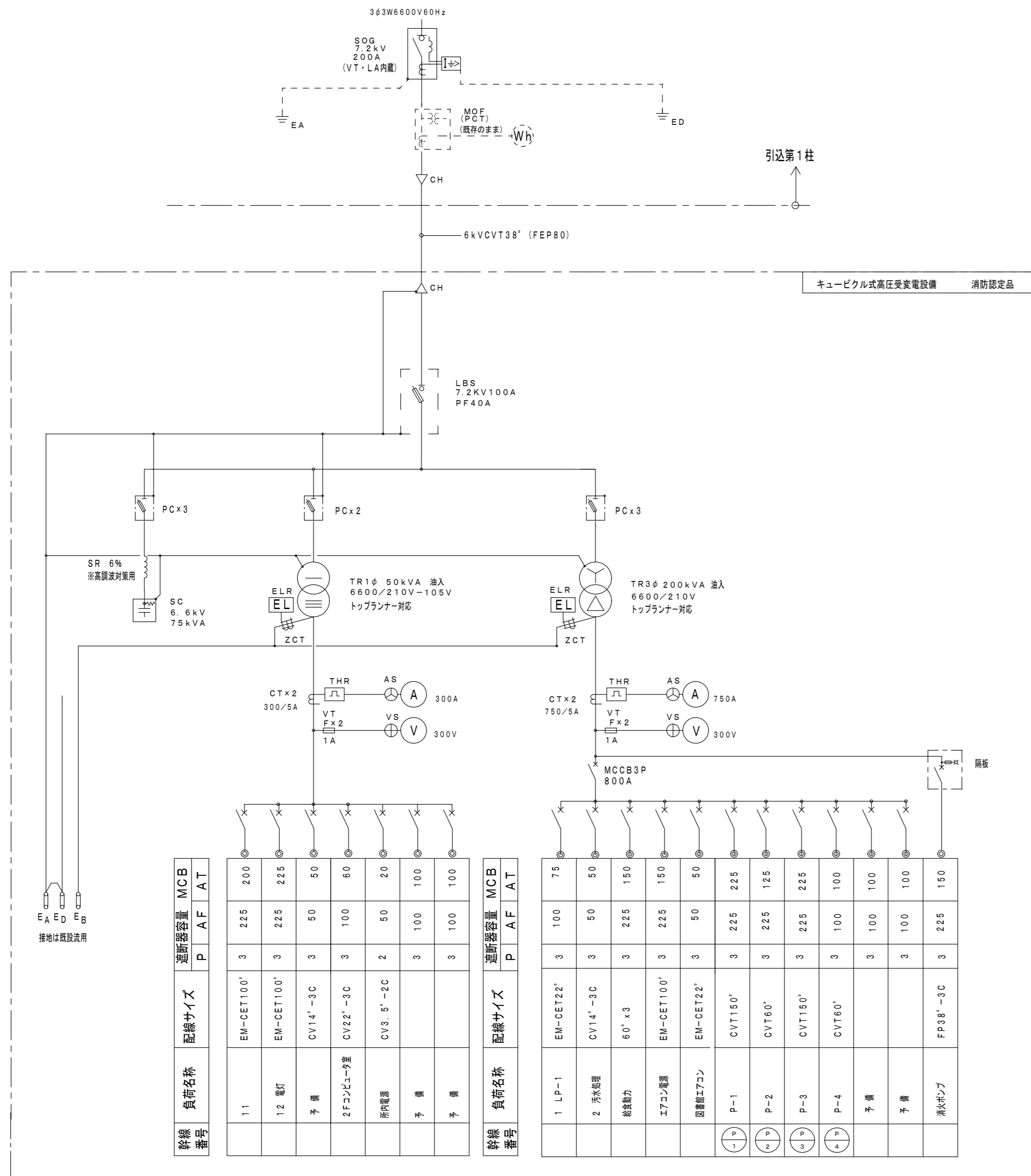
⚠注意 ・施錠門柱の扉開き側に障害物(兼用フェンス、壁など)を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更。



(設計条件) 風荷重: 昭和57年改正 建築基準法・同施行令に基づく風圧力に準拠。
 (基礎条件) 長期許容地耐力98kN/m²の場合。

津市立安濃小学校

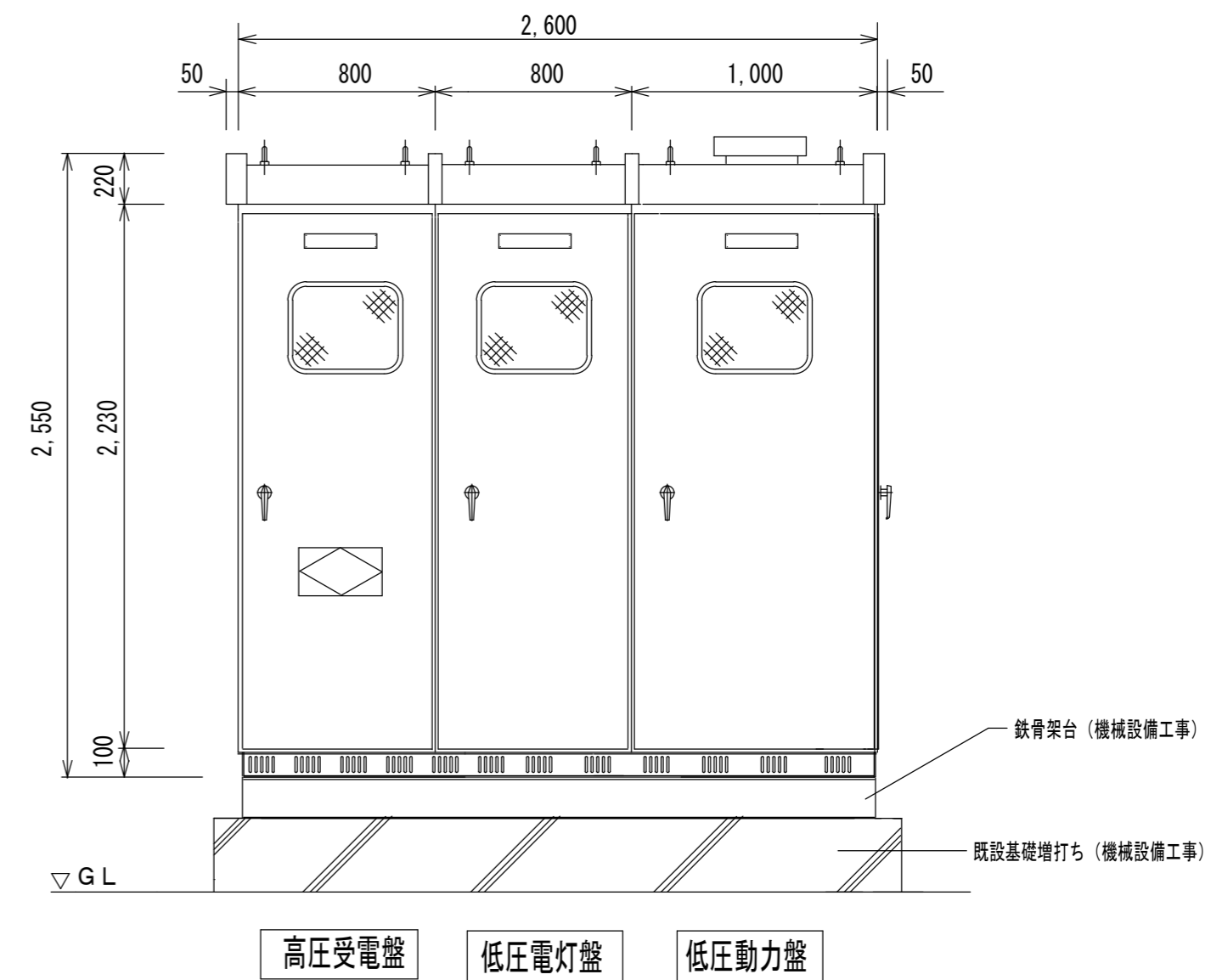
| | | | |
|-----|---|----------------------------------|-------------------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原図 A2 |
| | 日付 | 担当 | 承認 |
| | | | |
| | | 図面名 フェンス標準図 | 縮尺 A2:S=1/30 1/50 |
| | | | 図面番号 M-11 |



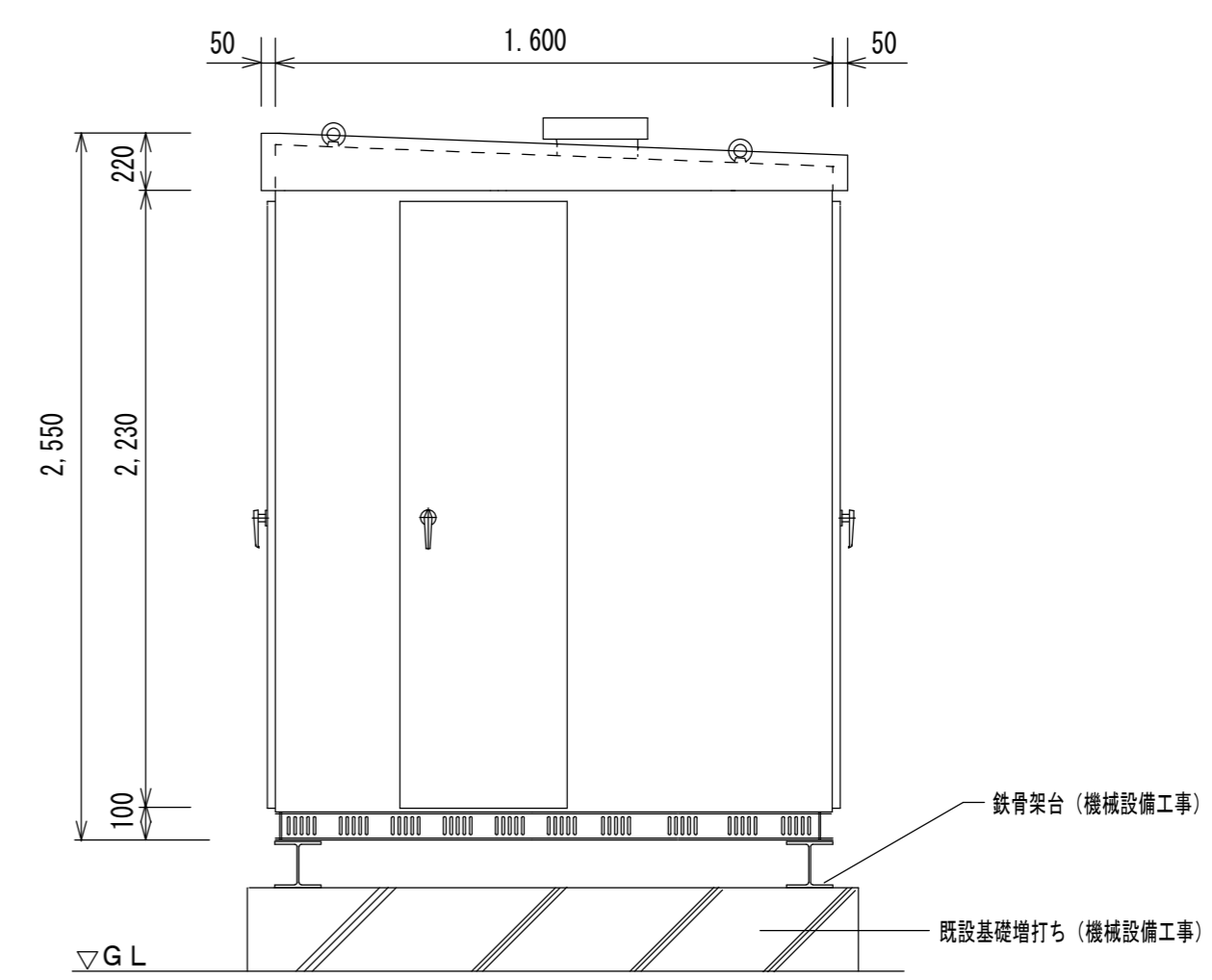
| 幹線 番号 | 負荷名称 | 配線サイズ | 遮断器容量 MCB | | |
|----------|-----------|------------|-----------|-----|-----|
| | | | P | A | AT |
| 11 | | EM-CET100' | 3 | 225 | 200 |
| 12 | 電灯 | EM-CET100' | 3 | 225 | 225 |
| | 予備 | CV14'-3C | 3 | 50 | 50 |
| | 2Fコンピュータ室 | CV22'-3C | 3 | 100 | 60 |
| | 所内電源 | CV3.5'-2C | 2 | 50 | 20 |
| | 予備 | | 3 | 100 | 100 |
| | 予備 | | 3 | 100 | 100 |

| 幹線 番号 | 負荷名称 | 配線サイズ | 遮断器容量 MCB | | |
|----------|---------|------------|-----------|-----|-----|
| | | | P | A | AT |
| 1 | LP-1 | EM-CET22' | 3 | 100 | 75 |
| 2 | 排水処理 | CV14'-3C | 3 | 50 | 50 |
| | 給食動力 | 60' x 3 | 3 | 225 | 150 |
| | E7コン電源 | EM-CET100' | 3 | 225 | 150 |
| | 図書館E7コン | EM-CET22' | 3 | 50 | 50 |
| | P-1 | CVT150' | 3 | 225 | 225 |
| | P-2 | CVT60' | 3 | 225 | 125 |
| | P-3 | CVT150' | 3 | 225 | 225 |
| | P-4 | CVT60' | 3 | 100 | 100 |
| | 予備 | | 3 | 100 | 100 |
| | 予備 | | 3 | 100 | 100 |
| | 消火ポンプ | FP38'-3C | 3 | 225 | 150 |

◎：端子台



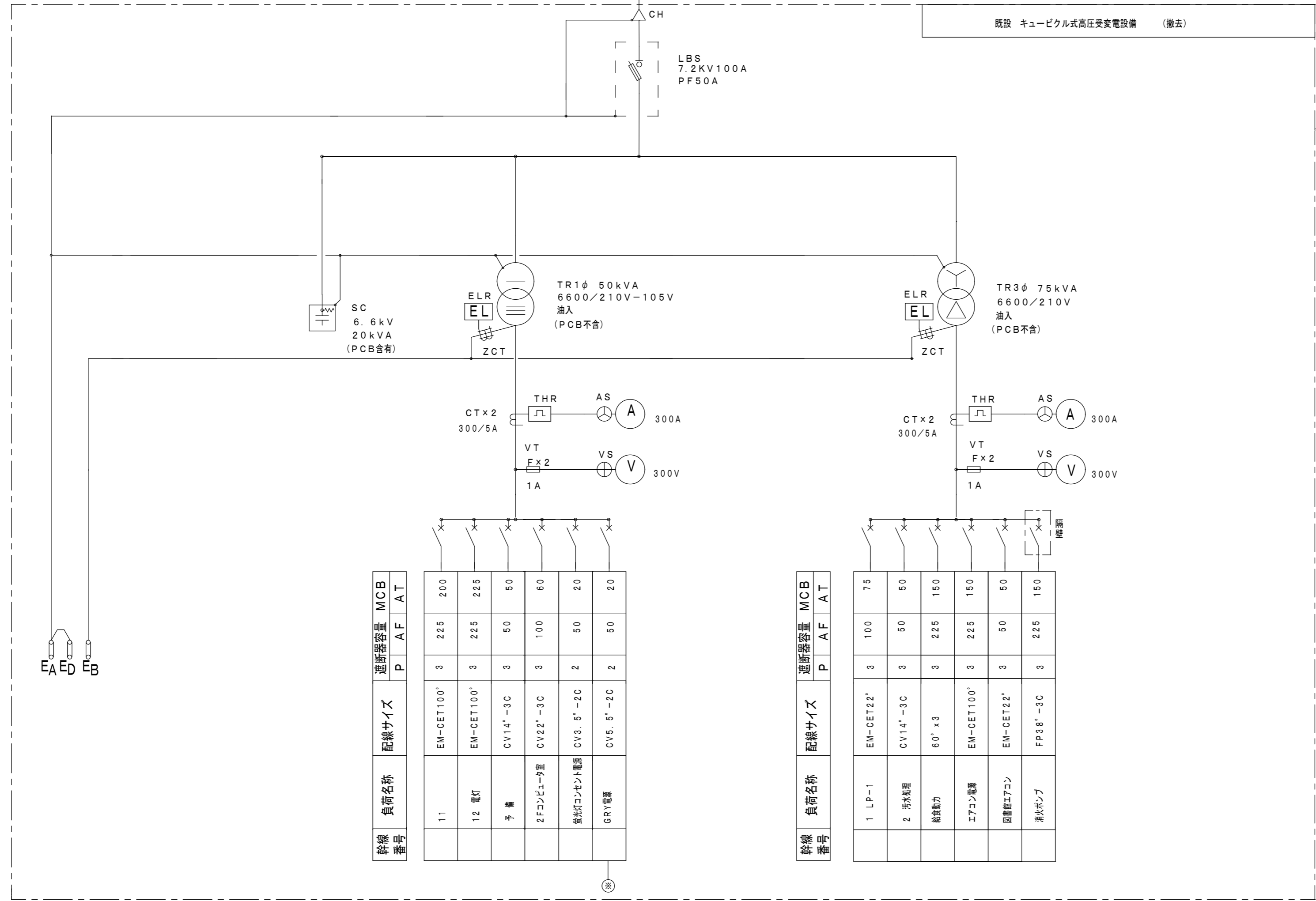
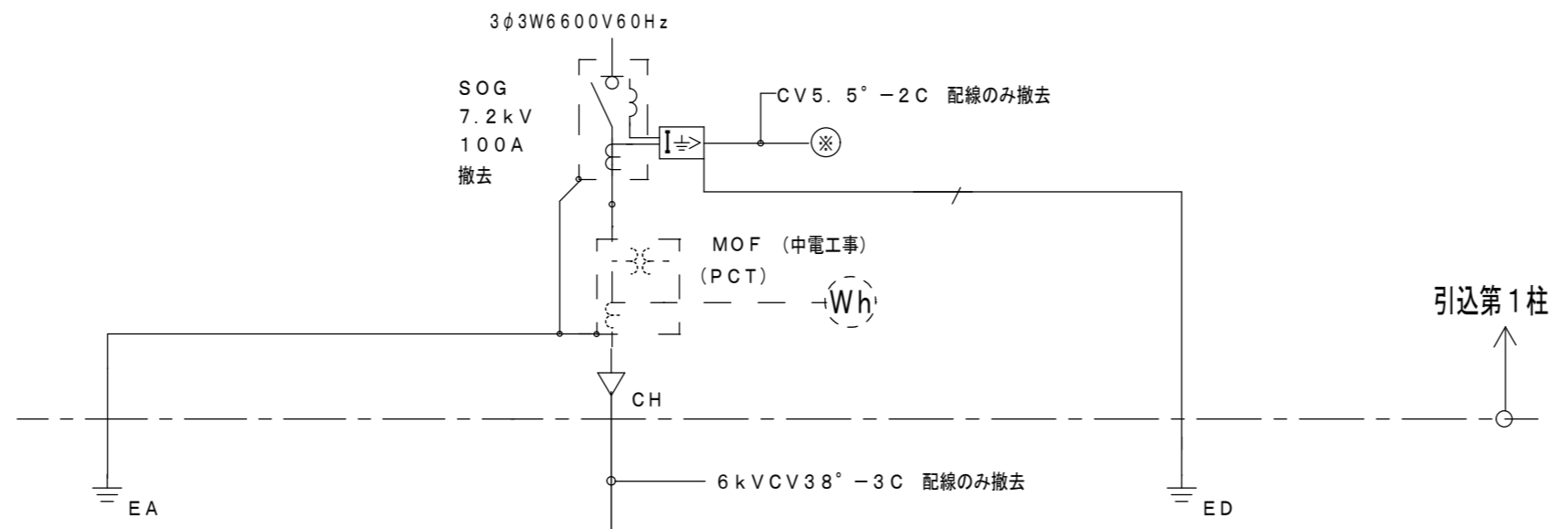
高圧受電盤 低圧電灯盤 低圧動力盤
受変電設備 正面図



受変電設備 側面図

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|--|----------------------------------|----------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原図 A2 |
| | 日付 | 縮尺 | 図面番号 |
| | | A2:S-NON | E-01 |
| | | 受変電設備 高圧単線結線図 | |



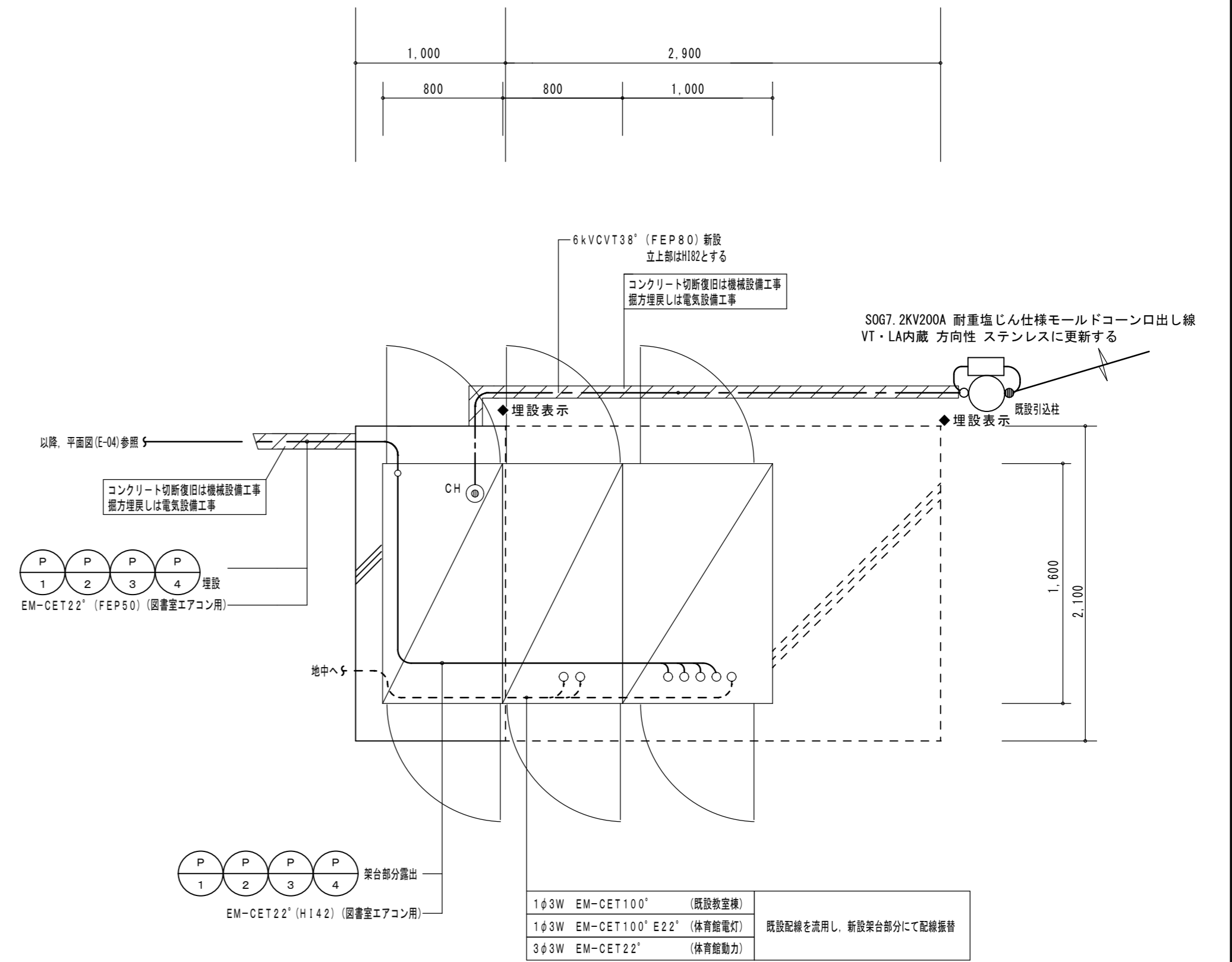
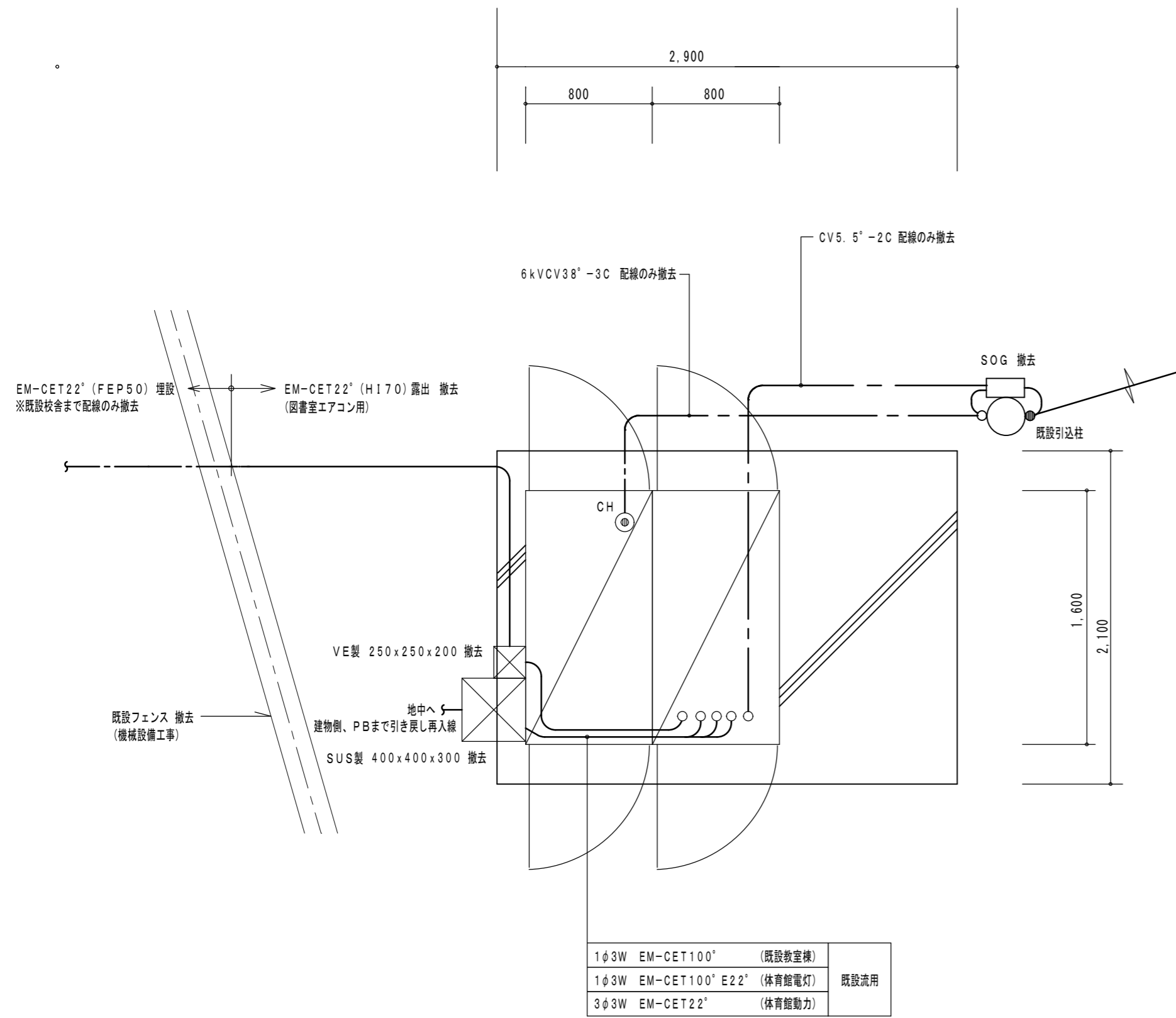
| 幹線 番号 | 負荷名称 | 配線サイズ | 遮断器容量 MCB | | |
|----------|------------|------------|-----------|-----|-----|
| | | | P | A | A T |
| | 11 | EM-CET100* | 3 | 225 | 200 |
| | 12 電灯 | EM-CET100* | 3 | 225 | 225 |
| | 予備 | CV14°-3C | 3 | 50 | 50 |
| | 2Fコンピュータ室 | CV22°-3C | 3 | 100 | 60 |
| | 蛍光灯コンセンタ電源 | CV3.5°-2C | 2 | 50 | 20 |
| | GRY電源 | CV5.5°-2C | 2 | 50 | 20 |

| 幹線 番号 | 負荷名称 | 配線サイズ | 遮断器容量 MCB | | |
|----------|---------|------------|-----------|-----|-----|
| | | | P | A | A T |
| | 1 LP-1 | EM-CET22* | 3 | 100 | 75 |
| | 2 汚水処理 | CV14°-3C | 3 | 50 | 50 |
| | 給食動力 | 60° x 3 | 3 | 225 | 150 |
| | E7コン電源 | EM-CET100* | 3 | 225 | 150 |
| | 図書室E7コン | EM-CET22* | 3 | 50 | 50 |
| | 消防ポンプ | FP88°-3C | 3 | 225 | 150 |

※PCB含有機器は、PCB保管箱へ入れ、指定場所に保管とする。
 参考寸法 W1000xD1000xH1300程度、屋外仕様 SUS製 鍵・表示付。
 ※PCB不含機器は、PCB含有検査により不含確認し、適正に処分すること。

津市立安濃小学校

| | | | | |
|-----|--|----|---------------------------|---------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 | | 工事名 | 原図 |
| | TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公 | | 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| | 日付 | 担当 | 承認 | 縮尺 |
| | | | | 図面番号 |
| | | | 既設受変電設備 高圧単線結線図 | A2-S-NON E-02 |



| | |
|---|----------------------|
| ① | CVT150' E22' (FEP80) |
| ② | CVT60' E8' (FEP50) |
| ③ | CVT150' E22' (FEP80) |
| ④ | CVT60' E8' (FEP50) |

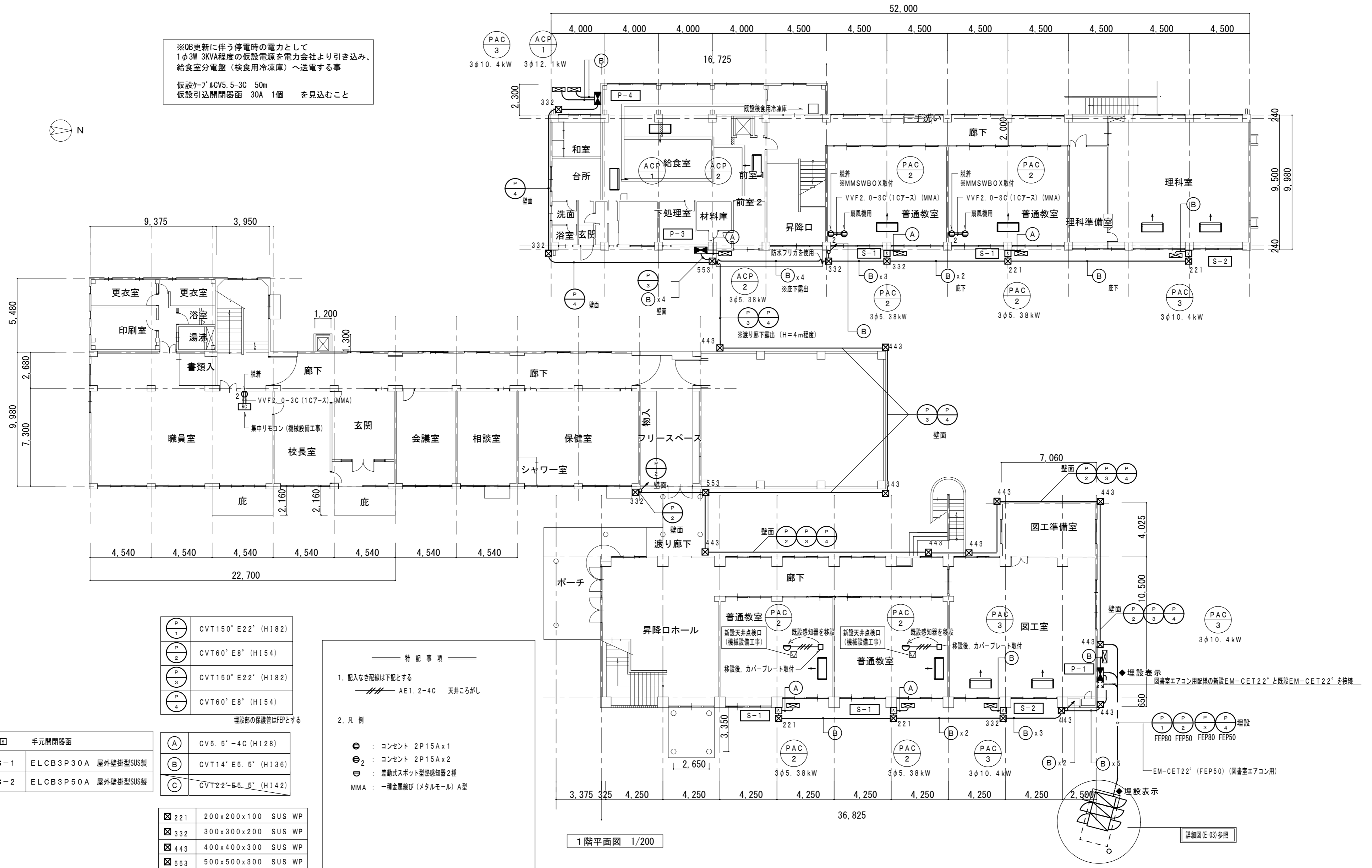
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公

| | |
|---------------------------|-----------|
| 工事名 | 原 図 |
| 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | A2 |
| 図 面 名 | 縮 尺 |
| 受変電設備 平面詳細図 | A2:S=1/30 |
| | 図 面 番 号 |
| | E-03 |

日付 担当 承認

※OB更新に伴う停電時の電力として
1φ3W 3KVA程度の仮設電源を電力会社より引き込み、
給食室分電盤（検査用冷凍庫）へ送電する事
仮設ケーブルVCV5.5-3C 50m
仮設引込開閉器 30A 1個 を見込むこと



| | |
|----|---------------------|
| ⊙1 | CVT150° E22' (H182) |
| ⊙2 | CVT60° E8' (H154) |
| ⊙3 | CVT150° E22' (H182) |
| ⊙4 | CVT60° E8' (H154) |

埋設部の保護管はFEPとする

| | |
|---|---------------------|
| Ⓐ | CV5.5°-4C (H128) |
| Ⓑ | CVT14° E5.5' (H136) |
| Ⓒ | CVT22° E5.5' (H142) |

| | |
|------|--------------------|
| ☒221 | 200x200x100 SUS WP |
| ☒332 | 300x300x200 SUS WP |
| ☒443 | 400x400x300 SUS WP |
| ☒553 | 500x500x300 SUS WP |

特記事項

1. 配入なき配線は下記とする
 // AE1.2-4C 天井ころがし

2. 凡例

⊙ : コンセント 2P15A x 1
 ⊙2 : コンセント 2P15A x 2
 ⊖ : 差動式ポット型熱感知器2種
 MMA : 一種金属繊維 (メタルモル) A型

※ 盤・機器等への接続は、金属製可とう電線管 (ビニル被覆防水) を使用すること

1階平面図 1/200

詳細図 (E-03) 参照

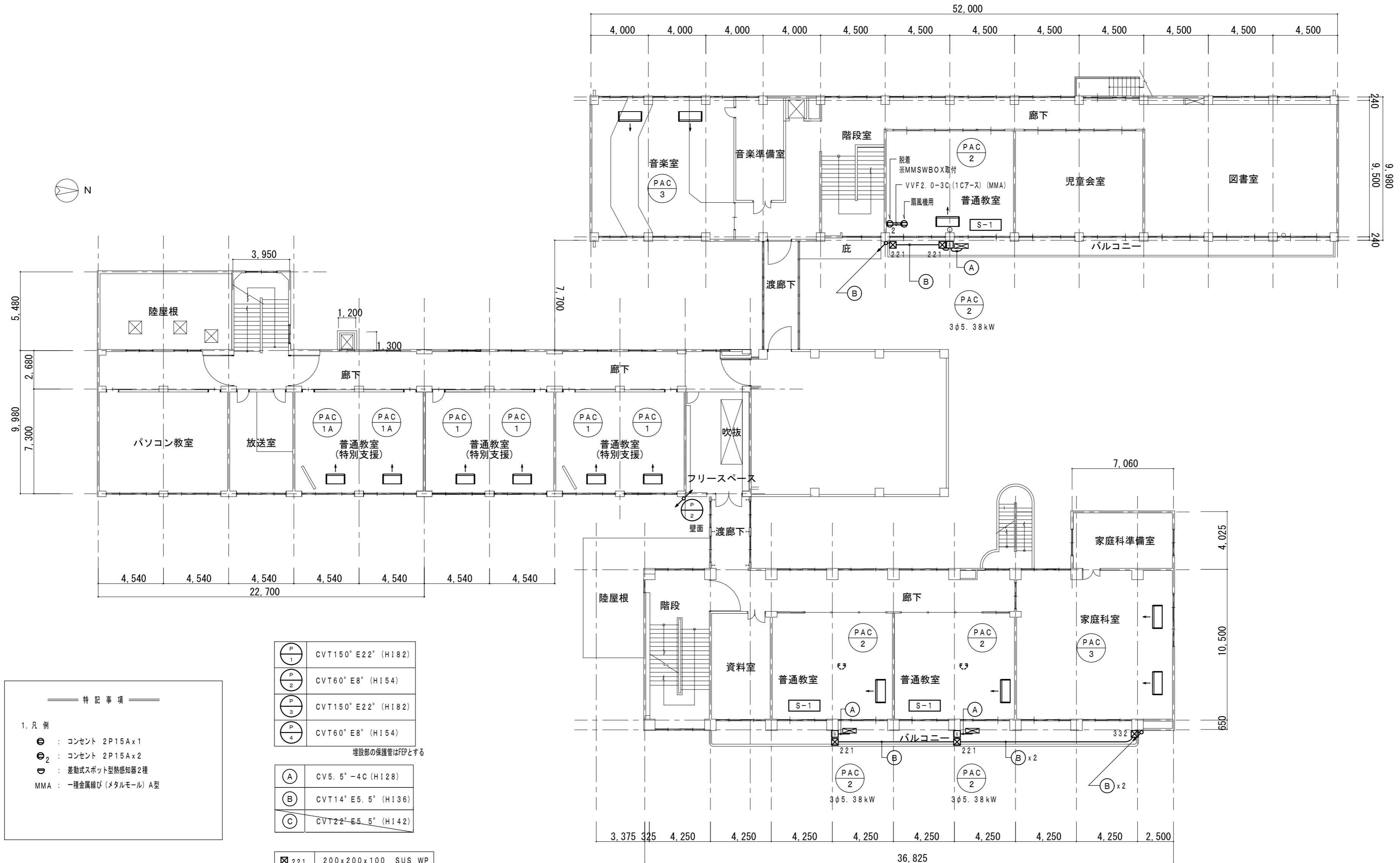
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379
 伊藤 公
 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115

工事名
 津市立安濃小学校
 普通教室等空調設備設置工事
 原図
 A2

日付 担当 承認
 電気設備 1階平面図 縮尺 A2:S=1/200 図面番号 E-04

津市立安濃小学校



2階平面図 1/200

特記事項

1. 凡例

- : コンセント 2P15A x 1
- ₂ : コンセント 2P15A x 2
- ⊖ : 差動式スポット型熱感知器 2種
- MMA : 一種金属線び (メタルモール) A型

| | |
|----------------|---------------------|
| ⊖ ₁ | CVT150°E22° (H182) |
| ⊖ ₂ | CVT60°E8° (H154) |
| ⊖ ₃ | CVT150°E22° (H182) |
| ⊖ ₄ | CVT60°E8° (H154) |
| 埋設部の保護管はFPPとする | |
| A | CV5. 5°-4C (H128) |
| B | CVT14°E5. 5° (H136) |
| C | CVT22°E5. 5° (H142) |

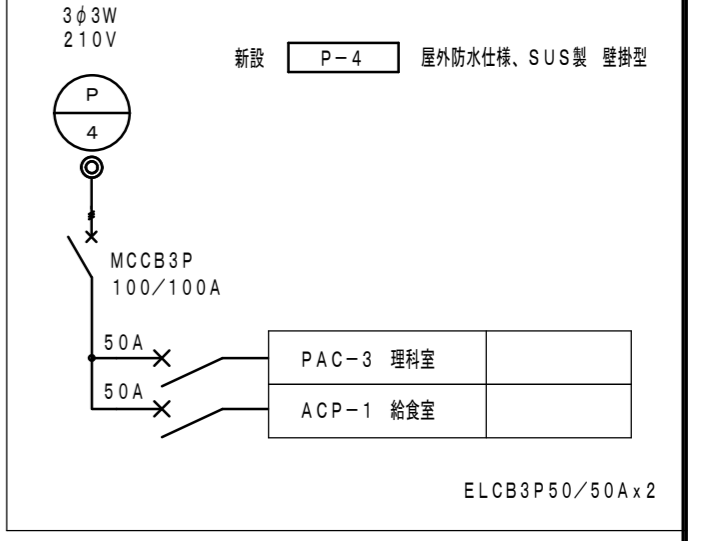
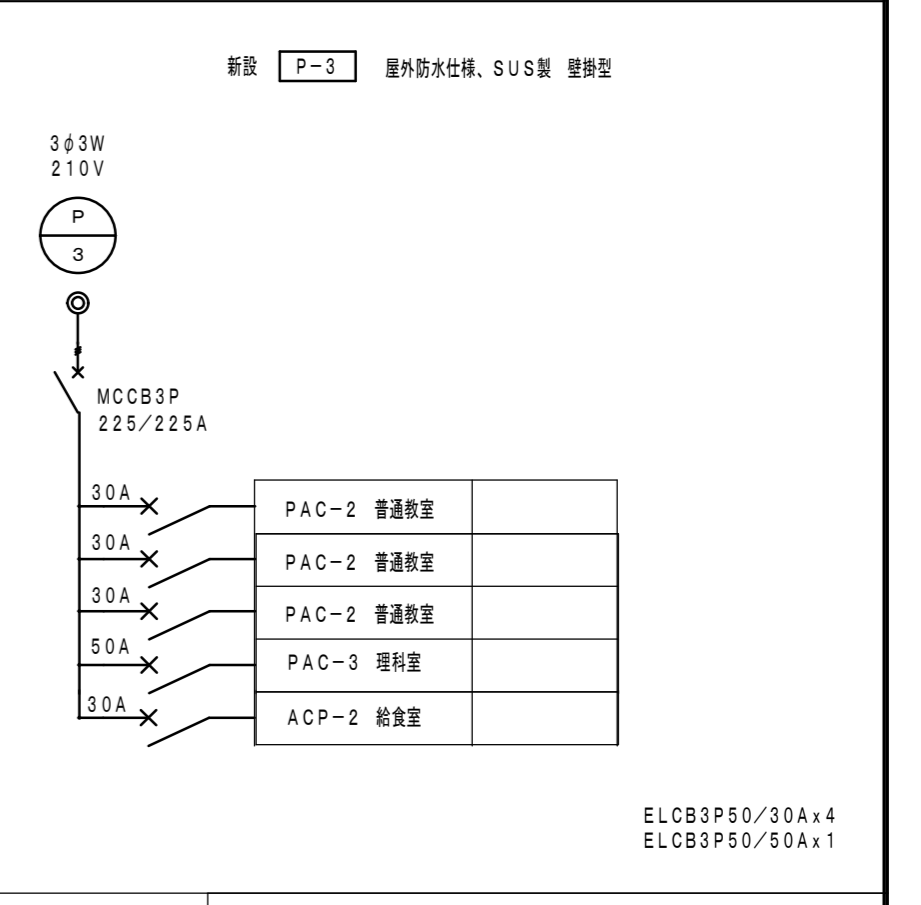
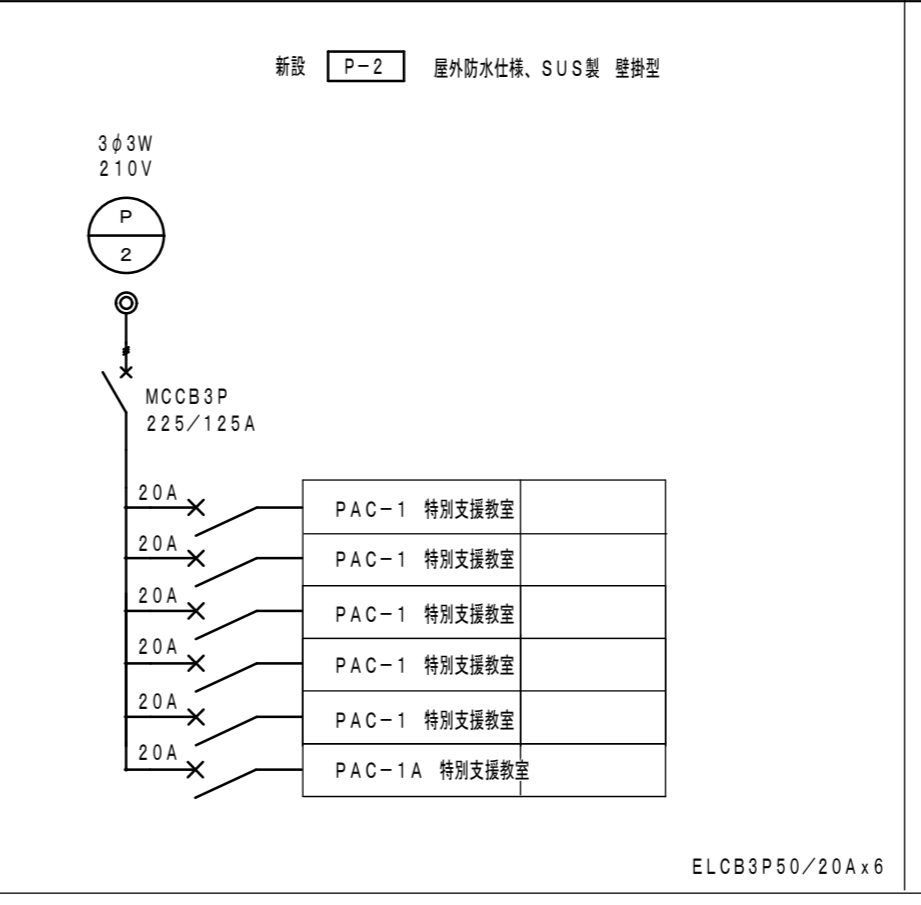
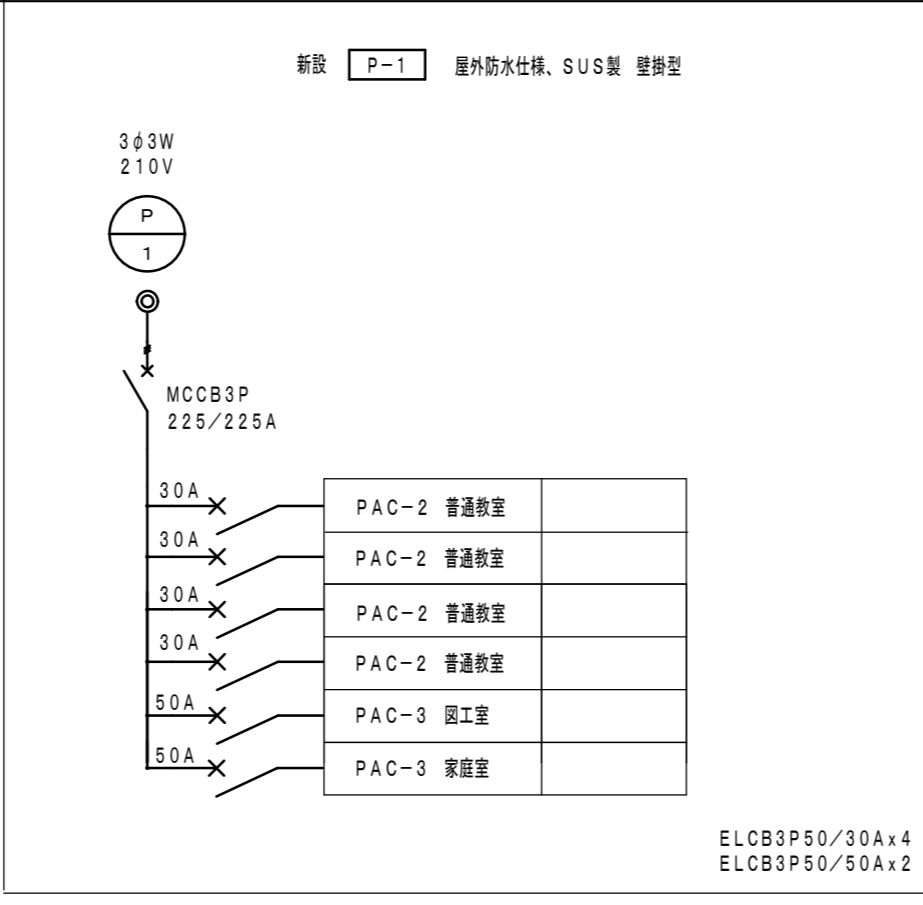
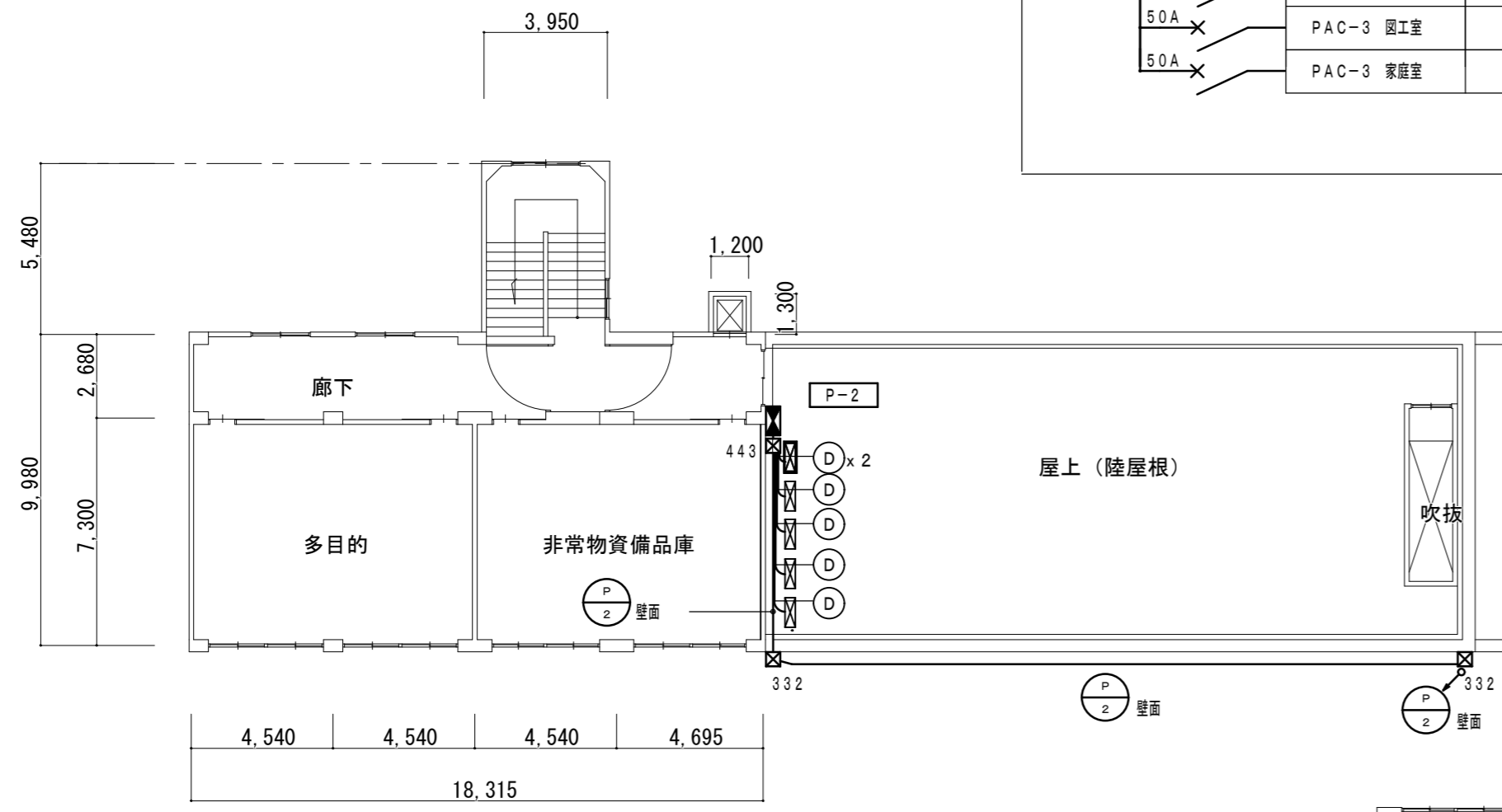
| | |
|-------|--------------------|
| ☒ 221 | 200x200x100 SUS WP |
| ☒ 332 | 300x300x200 SUS WP |
| ☒ 443 | 400x400x300 SUS WP |

※ 盤・機器等への接続は、金属製可とう電線管 (ビニル被覆防水) を使用すること

| | |
|-----|---------------------|
| ☒ | 手元開閉器 |
| S-1 | ELCB3P30A 屋外壁掛型SUS製 |
| S-2 | ELCB3P50A 屋外壁掛型SUS製 |

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|--|----------------------------------|----------------------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原図 A2 |
| | 日付 | 担当 | 承認 |
| | 電気設備 2階平面図 | | 縮尺 図面番号 A2:S-1/200 E-05 |



| | |
|--------|----------|
| PAC 1A | 3φ2.25kW |
| PAC 1 | 3φ2.25kW |
| PAC 1 | 3φ2.25kW |
| PAC 1 | 3φ2.25kW |
| PAC 1 | 3φ2.25kW |
| PAC 1 | 3φ2.25kW |

| | |
|---|------------------|
| D | CV3.5"-4C (H128) |
|---|------------------|

| | |
|----------------|---------------------|
| P1 | CVT150° E22' (H182) |
| P2 | CVT60° E8' (H154) |
| P3 | CVT150° E22' (H182) |
| P4 | CVT60° E8' (H154) |
| 埋設部の保護管はFIPとする | |
| 332 | 300x300x200 SUS WP |
| 443 | 400x400x300 SUS WP |

屋上露出配管は配管支持用ブロック (ゴムベース付) にて支持を行うこと。
※10m毎に伸縮カップリングを使用すること。

※ 盤・機器等への接続は、金属製可とう電線管 (ビニル被覆防水) を使用すること

3階平面図 1/200

津市立安濃小学校

| | | | |
|-----|--|----------------------------------|--------------|
| ※注記 | 株式会社 中部都市建築設計事務所 1級建築士大臣登録番号143379 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤 公 | 工事名 津市立安濃小学校 普通教室等空調設備設置工事 | 原 因 A2 |
| | 日付 | 縮尺 A2:S=1/200 | 図面番号 E-06 |
| | 担当 | 図面名 電気設備 3階平面図 | |
| | 承認 | | |